

(報告)

中国語教科書と性差別的表現¹

宮 下 尚 子

1. 問題提起²——教科書とジェンダーバイアス³

小文は、大学等で用いられる中国語テキストにどのような性差別や性的偏見を含む表現がみられるかを調査したものである。

性差別や性的偏見を「ジェンダーバイアス」と言うこともある。ジェンダー（英語：gender）とは、社会的または文化的に形成された男女間の差異を表し、「男らしさ」「女らしさ」といった言葉で表現され、生物学上の雌雄を示すセックス（英語：sex）とは区別される。また、ジェンダーバイアスとは、社会的につくられた性差にもとづく固定的な概念、偏見や不平等を指す。教育の現場では、男女別名簿や、男女による制服の違い、呼称における「くん」づけ、「さん」づけなどがこれに相当する。このような性差別（ジェンダーバイアス）は社会的に構築される無意識の規範として、意識の中にすりこまれるようにして形成される。

時には義務教育である小中学校で使用される教科書の中にも性差別的表現を目にすることがある。筆者が目にした例は、令和2年に発行された小学6年生のための道徳の教科書（文部科学省検定済教科書）での次のようなエピソードである⁴。多少長くなるが引用したい。

「ひろこ、お願い。ちょっと母さんのこしをおしてちょう

だい。一、二回でいいから。」
夕飯のしたくが一段落すると、母は、このごろいつも、きまってわたしに声をかけます。私は、親指が痛くなるほど力を入れて、母のこしをおします。
「おかあさん、そんなにこしが痛むの。お仕事やめればいいのに。」
というと、母は、うつぶせにした顔を上げ、（まだまだ、やめられないよ。）というように、顔を横にふります。

これは、看護師として介護入浴に携わる母が毎日疲れているのををみかねて「わたし」がかけた言葉である。「わたし」はこの後母親から仕事の話聞き、母親の仕事がたくさんの人の役に立っているということを知ることができてたいへんよかった、という話である。

この項目のねらいは「働く意義」「働いて人の役にたつということについて考えましょう」であるが、そこに気づく以前に、子供が仕事を持つ母親へ「お仕事やめればいいのに」ということに大変驚かされた。

「(仕事を) やめればいいのに」という言葉から、私たちが連想するのは、子育ては家族の基本的な責任であるという理由で保育所を増設しようとしめない政府の言動であったり、「三歳児神話」に囚われるか、単に感情的に「お母さんがいないと子供がかわいそう」と無責任に母親を家庭に縛りつけようとする周囲の大人の母親への圧力、

¹ 近年、国内でのオリンピックの開催に際して女性差別にまつわる一連の騒動があり、また、SDGsという概念の普及により、ジェンダーや多様性により多くの人々の関心があつまるようになりましたが、本稿はそれ以前の2020年に学会誌に投稿という形で初稿を終えました（森喜朗氏の発言が問題になったのは2021年2月）。論文は不採用でしたが、編集委員から「内容自体は時宜に沿ったもので大変おもしろいのですが、論文として見たときにはまだ未完成的な部分が多い」「(差別的表現が存在することについての) 主張を裏付けする根拠は一つもあげていない。主張の重要な根拠になるので、それが無いと推測の域を出ない」「実際に推測になっている」という大変貴重なご意見をいただきました。できる限り小文に反映させていただきましたので、この場を借りて御礼申し上げます。

以上のご批判を受けて、あらためて本稿の立場を明確にいたします。

(1) 例を挙げる場合は出版社と編著者も同時に出すことでよりわかりやすさを心がける（以前は編著者とテキスト名を例文と別に掲げること、編著者や出版社と事例がむすびつきにくいようにしていた）(2) ジェンダーバイアスの表現やハラスメントに気づくかどうかは主観的かつ相対的な部分が大きいので、客観性はとりにくい。気づけるかどうかはその人の感性によるところが大きいため、暑い寒いのように個人差が大きく、感じない人は感じることでできない問題である。客観性を得て是正を図る、改善策を要求することは本稿の目的ではないことを主張する、本稿では現象を指摘するにとどめることにする。

² 本稿は、性差別的表現を指摘することそのものが目的である。大学で使用する教科書は講義を行う教員の裁量の下に選定されるので、このことに意見をすることは全くない。どのように改善したらよいか、ということよりも、まず、教科書の中に性差別的表現があり、そのために傷ついている人がいる、ということに意識を向けたいという気持ちから筆者は小稿の執筆を始めました。したがって、このこと(性差別を含むあらゆる差別的表現の指摘)を通じて、著者や出版社、教科書に対して指摘した箇所の修正や削除を依頼要求するものではないことを繰り返しここで述べておきます。

³ 「ジェンダー」とは社会的文化的な性差を指し（『デジタル大辞泉（第二版）』）、「バイアス」とは偏見、差別であり、すなわち「ジェンダーバイアス」は直訳すれば「社会的文化的性差別、性的偏見」ということになる。

⁴ 藤永芳純、島恒生ほか46名著（2020）『小学道徳 生きる力 6』大阪市：日本文教出版株式会社。第28ページ「母の仕事」より引用。

家事と育児と仕事でヘトヘトになっている妻に向かって「働かせてやっているんだから家事も育児もキミの責任でやれ。俺の手を煩わせるんじゃない」「そんなに疲れているなら仕事なんかやめればいだろう。」「仕事を続けたいなら家の中のことも育児もきっちりやれ」と夫がかける言葉。賃金が安い、休日が少ないと訴える労働者に「仕事をさせてやっているのだから、疲れたなどと文句を言うな」と上司あるいは雇用者側が言う言葉である。それは常に上から降ってくる災難のような言葉の暴力である。

つまり、娘が母親にかけた言葉の裏には「働きたいなら一切文句を言うな」という本音がある。仮に、母親の身体を心配して親身に出た言葉であったとして、母親に仕事を続けるかやめるかという二者択一を迫るべきではないだろう。母親が働くことは尊重されておらず、母親の仕事がわかりやすく人の役に立つものではなくれば、「やめればいいのに」という言葉をかけ、仕事をやめさせても問題がないということなのであろう。もし母親が仕事をやめたらこの家族はこの後どうやって生活していくのか。これが母親ではなく、父親であったら、娘は「お仕事やめればいいのに」と言うであろうか。

他にもこの道徳教科書⁵では、女の子には「さん」づけ、男の子には「くん」づけを用いたり、女の子は一般に髪が長く赤いランドセルを背負い、男の子は短髪か坊主頭、ランドセルは黒。言葉遣いも、女の子は「わたし」で語尾は「～わ」「～なのよ」であるのに対し、男の子は「ぼく」で語尾は「～いるんだ」「～だよ」のような典型的かつわかりやすい性的偏見にもとづく表現が多く見られる。他にも、「夕食のあと、ぼくは、新聞を読んでいるお父さんに聞いてみました」⁶のような一見何でもないような文章として性差別が存在する。教材として取り上げられているロールモデル（将来の見本となるような人物像）も1例を除き男性であり、「修身」の教科書を彷彿とさせる。

上記のような教科書の内容は、日本社会にあたりまえ

にはびこる深刻な女性差別を反映したものと言えるだろう。世界経済フォーラムが2021年3月に公表した「ジェンダー・ギャップ指数」⁷によると、2021年の日本のスコアは総合で0.656⁸。順位は156か国中120位と先進国の中では最低レベルであり、アジア諸国の中でも韓国(102位)や中国(107位)よりも低い結果である。日本のジェンダーギャップ指数を低い状態にとどまらせている主要な原因は、教育、医療の分野ではなく、政治と経済の分野であるが、教科書の執筆者に女性が少ないこと、検定を行う側にも女性が少ないことが、検定教科書の中の女性差別を見逃している原因になっているとは考えられないだろうか。

小論の本題は大学で使われる中国語の教科書に見える性差別的表現であるが、中国語の教科書を取りあげる前に、日本で今どのぐらい多くの人が大学の進学して、そのうちのどのぐらいの学生が中国語を選択しているか数値で見ておきたい。

国内の令和元年5月に発表された「平成28年度の大学における教育内容等の改革状況について(概要)」⁹によると、全国の735大学(平成28年度)の82.6パーセントに当たる608の大学(学部段階)で外国語科目としての中国語が開講されている¹⁰。

大学での中国語の開講および履修者数の増加は、中国の経済的発展と開放政策の進展にともない、1990年代から徐々に始まったとされている。このような中国語履修希望者数の増加に対応するため、各大学でもカリキュラムと履修方法の改善が進められ、教材開発が盛んに行われるようになった一方で、教育現場において多くの問題が噴出し現在に至ることは既に知られている通りである¹¹。ドイツ語やフランス語では、動詞の現在人称変化から始まって、関係代名詞と接続法までたどり着くことが1年間の学習目標であり1冊の教科書を構成するうえでの必須条件であるという共通認識がほぼ存在するが、中国語の場合は教授法が確立しているとは言いがたく、

⁵ この教科書が「道徳」の教科書なので内容に偏りがあっても致し方ないと考える方もいらっしゃるかもしれない。しかし、「道徳」という科目は学習指導要領の一部改定により、2018年(平成30年)4月から「特別の教科 道徳」として日本全国の小中学校で教科化され、履修と評価の導入が義務付けられた。それにともない検定教科書を使用することも義務付けられている。上の教科書も、自治体や学校が独自に開発した教材ではなく、48名の著者によって編集された文部科学省検定済の教科書である。

⁶ 藤永芳純、島恒生ほか46名著(2020)『小学道徳 生きる力 6』大阪市:日本文教出版株式会社。第33頁「おかげさまで」より引用。

⁷ World Economic Forum Global Gender Gap Report 2021 (http://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2021.pdf) による(アクセス日:2021年8月25日)

⁸ ジェンダーギャップ指数は「経済」「政治」「教育」「健康」の4分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示す。分野ごとの指数は、経済が0.604、政治が0.061、教育が0.983、健康が0.973である。

⁹ https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/_icsFiles/afiedfile/2019/05/28/1417336_001.pdf (アクセス日:2021年1月20日)

¹⁰ 平成28年度外国語教育の実施状況は、多い順に、英語730校(99.2%)、中国語608校(82.6%)、フランス語479校(65.1%)、朝鮮語(韓国語)469校(63.7%)、スペイン語228校(31.0%)、ポルトガル語78校(10.6%)、インドネシア語50校(6.8%)、ギリシャ語65校(8.8%)、タイ語44校(6.0%)、ロシア語143校(19.4%)、ラテン語84校(11.4%)、アラビア語49校(6.7%)、イタリア語111校(15.1%)、その他67校(9.1%)。全体としての履修者数は不明。

¹¹ 『日本の中国語教育 その現状と課題2002』を参照。

各大学や教員ごとに、何をどこまでどのようなやりかたで教えるかということに一致した見解がないようで、「初級」「中級」という概念を立てることさえ難しく、中国で行われているHSK（漢語水平考試）や日本で行われている中国語検定試験の認定基準と試験範囲を仮に当てはめて、「この教科書では中国語検定試験のおよそ第〇級の文法と語彙をカバーしています」ということがよく行われる。

しかし、教える量や内容が同じだったとしても、各大学ごとのカリキュラムの多様化に対応するため、教科書もきめこまかく対応して多様化する傾向がある。週に一齣の授業であるのか、週に二齣の授業であるのか、第二外国語として学ぶのか、専門課程の一年生として学ぶのかなどで教科書の内容や厚さは変わってくる。現在毎年新たに何十冊も発行される大学用の中国語テキストは、「屋上に屋を架す」というよりは、教育現場のそれぞれに異なるこまかい需要をそれぞれに反映した結果であり、教育の現場にとってはひとまず好ましいことであると言えよう。

このような状況の下、近年発刊されたテキストは、そのほとんどが多色刷りで天然色の写真を掲載し、イラストも当世風のものを用いて履修者が教科書に興味を示すようデザインされている。では内容のほうはどうか。教科書に書かれる表現は、短期的には、学生がモチベーションを維持し、中国語を学び続けるかどうかを決定する上で大きな役割を果たす。教科書の中の図象や写真や文章をはじめとするさまざまな表現は履修者に向けて情報発信することを通じて、履修者の学びへの意欲を高め、長期的には彼らの個人および社会の中の一員としての意識に大きく影響を与える可能性がある。

すでに述べたように、文部科学省の管轄化にある小学校、中学校、および高等学校で使用される教科書は、①学習指導要領への準拠性、②児童生徒の発達段階への適応性、③教材の客観性・公正性・中立性、④内容の正確性という教育の質的課題を解消するために、検定教科書を使うことが義務付けられているが¹²、一方で、大学や専門学校等で使用される教科書には、そのような規定はなく、教育施設や教育担当者が教育内容に合わせて出版社から購入したり、自前で制作し発行することが当たり前になっている。

そのような状況の中、外国語の教科書では、学習者の文法事項への理解および習得を促すために、文脈理解の

ための負担を減らし、できるだけ一般的で典型的とおもわれる場面設定や例文を用い、学習者に文法を骨格とする文中に含まれる情報を提示することが往々にして行われている。〈妈妈在做饭。〉〈妈妈去超市买东西。〉〈爸爸在公司工作。〉などがその例である。母親はだいたいエプロンをつけた姿で描かれ、職業を持たないの言うまでもなく、名前すらない。

現実の社会ではどうだろう。厚生労働省の「国民生活基礎調査」調査の結果（2020年）¹³によると、児童のいる世帯の母親の72.4%が何らかの仕事についており、この状況は2004年以後継続して上昇傾向にある。つまり、現行の多くの中国語教科書に描かれている日本の家庭の姿というのは、現実の状況から既にかなり遅れたところにある。現在の学習者、すなわち、おそらく半数以上を占めるとされる女子学生¹⁴にとって、将来のモデルとなるべきものでもない。上記でとりあげたような中国語教科書が、性的偏見にとらわれて現在を生きる女性の地位や権利をを貶めつつあるという現実は、たいへん遺憾であるとしかしいようがない。

このような問題意識をもって、小文では、筆者の個人的な視点から、中国語教科書にみえる性差別の問題を取り上げたが、周知のとおり、大学で使用する教科書は専門書の一環として各大学、教員の裁量によって自由に執筆されたり選ばれている現状に異議を唱えるものではない。教科書を執筆される先生方および編集者のご苦勞も承知しているつもりである。しかし残念なことに、中国語教科書は男女平等という見地からあまりに悲惨な状況を呈している。このことは、これまで誰からも指摘されてこなかった。筆者はジェンダー問題の専門家ではないが、不快に感じたり疑問に思うところを挙げた。

2. 先行研究

教材研究がもっと進んでいる英語教育の分野では、崎田1996、伊藤2006、石川他2020のように、早くから教材とジェンダーのかかわりについての実践的研究が行われてきた。

伊藤2006では、英語教科書等を分析する際に、次の5項目の性的不平等が見られるとしている。(1)性別役割分業の強調、(2)女性の不可視性、(3)女らしさ、男らしさの強調、(4)女性の不当描写、(5)差別語の使用である。特に、教科書の中では男女は家庭の内側と外側に分けられ

¹² https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/tosho/003/gijiroku/08052214/001.htm（文部科学省：教科書検定制度について アクセス日2021年8月25日）、および https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/giji/_icsFiles/afiedfile/2009/05/20/001.pdf（〔参考〕教科書検定に関する根拠規定等について）を参照のこと。

¹³ <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/dl/02.pdf>（アクセス日：2021年1月23日）

¹⁴ 内閣府男女共同参画局における男女共同参画白書（令和二年版）https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r02/zentai/html/honpen/bl_s04_01.html（アクセス日：2021年1月23日）によると、令和元（2019）年度の学校種類別の男女の進学率における高等学校等への進学率は、女子96.0%、男子95.6%と、高い水準にある。大学（学部）への進学率は、女子50.7%、男子56.6%と男子の方が5.9%ポイント高いが、女子は全体の7.9%が短期大学（本科）へ進学しており、これを合わせると、女子の大学等進学率は58.6%となる。

る傾向があり、特に女性は家庭的なイメージが強調されるため、仕事については教師や看護師などの「伝統的」職域の中に囲い込まれてきたという（伊藤2006：102）。石川2020では、教科書の男女差別の分析に挿絵を用いることが指標のひとつとして提案されている。

英語以外の言語では、第二外国語教科書とジェンダーに関する研究として、朝鮮語の分野で足立祐子・鄭賢熙2006、藤井幸之助2008、フランス語ではRoussel2019を見つけることができた。

足立祐子・鄭賢熙2006は、日本で使用されている外国人向けの日本語の初級教科書と、日本人向けの朝鮮語（韓国語）の初級教科書について、性差別的な表現として問題があるかどうかを、登場人物、状況、例文、挿絵ごとに調べたものである。特に、朝鮮語の「동생」（下のきょうだい。性別に関係なくいもうとあるいはおとうとどちらも指すことができる）に与えられた訳語として、「弟」だけを挙げたり、「弟（妹）」のように提示する教科書があることを指摘している。

藤井2008では、朝鮮語初級教科書から性的不平等のあるもの、あるいは逆に性の平等という視点から望ましい例文や挿画を抽出している。特に、挿画において、固定された男性のイメージで描かれた絵が多く用いられる傾向にあること、例文とは関係なく母親または主婦的役割のキャラクターはことごとく前掛けをしていることを指摘する。また、先に挙げた足立祐子・鄭賢熙2006から一歩進んで、それぞれの教科書が「동생」にどのような解釈を加えているかを親族呼称という観点から分析している。

Roussel2019（原文はフランス語）は、日本で発行されているフランス語教科書に見える登場人物の呼称、職業、動作、形容詞について、外国人教師の目線から調査と分析を行ったものである。日本のフランス語学習者の大多数は女性であるにもかかわらず、教科書の中では、女性は過小評価されていること、代名詞の性（類別）の問題、全ての名詞が男性、女性、中性という類別を持つフランス語では、職業名詞の無標の形は男性名詞であり、女性冠詞をつけることはその職域の異質なメンバーであることを有標的に言外に示唆するという問題が解決されていないことについて日本のフランス語教科書が無関心である点等を述べている。

また、2016年3月に、ユネスコのグローバルエデュケーションモニタリング（GEM）¹⁵レポートの主幹するWorld Education Blog（世界教育ブログ）において「Gender bias is rife in textbook.（教科書は性的偏見であふれている）」という記事¹⁶が掲載されたことも、小

文に学術的社会的な意義があることを意味している。この記事では、世界中の多くの教科書に女子を貶める図式的な性的偏見（絵や写真や表現など）が存在し、女子を家庭内や社会における従属的な役割に暗黙的に従事させることを示唆する。このことが女子の教育参加への社会的な意欲を下げる一方で、就学の機会を奪い、学業の達成、人生における選択に影響を与えていることが、今後の持続可能な社会を構築するための障壁のひとつであると警告している。

中国語の分野では、教材開発に関連して、2002年に日本中国語学会において『日本の中国語教育 その現状と課題2002』という「日本の中国語教育についてはじめての大掛かりな公的調査」（p.2「はしがき」より）がようやく行われ、同年4月には中国語教育学会も設立されたが、シラバスや教科書に盛り込む文法事項や単語について「何を、どこまで、どう、どのぐらい、教えるか」のほうにだけ焦点が当てられており、教科書と性差別や性的偏見の問題¹⁷は未だ考慮されることがないようである。

性差別や性的偏見に関する個別の研究としては、任利2015は教科書研究ではないが、中国でもっとも規範的権威的である辞書『現代漢語詞典』（第5版）において、<他><她>が用いられている例文を集めその内容を分析した。分析の結果、『現代漢語詞典』中に登場する<他>は、仕事、知能、技能、性格、趣味の上でそれぞれに高く評価された、積極的で、みんなに好かれる人徳のある立派で優秀というイメージを持つ男性である一方で、時に横暴に振舞ったり、突然の学業不振、業績不振に悩まされたり、突然かっとなったりする気質のある男性像というイメージを併せ持つ。<她>は容姿や声や言葉遣いが美しく、性的でありまた親切的な性格であるが、同時に病弱で貪欲で愚かで消極的な人物であり、泣く、涙、怖いといった否定的な感情を示すことが多い人物であるということを指摘した。また、同じ見出し語に用いられる用例でも、例えば「还（まだ）」は<他>では「他还在工作（まだしごとをしている）」のに、<她>では「她还那么年轻（まだ若々しい）」という例文に用いられるように、男性は仕事や知能面で評価され、女性は容姿や若さで評価される傾向があること、辞書編集者の持つ言葉の上での性差別意識が期せずして現れていることを指摘した。

上記のほかには、筆者が調査した範囲内ではあるが、国内の中国語教科書と性差別や女性蔑視とのかわりに関する言及を見つけることはできなかった。国内で発行される中国語の教科書には女性蔑視の表現が多いにもかかわらずこれまで広く指摘されてこなかったこと自体

¹⁵ SDGsの教育分野のターゲット達成に向けた取組の進捗状況をとりとまとめた年次評価レポート。

¹⁶ <https://gemreportunesco.wordpress.com/2016/03/08/gender-bias-is-rife-in-textbooks/>（アクセス日：2021年1月20日）

¹⁷ 中国語教科書とジェンダーの問題について、1例だけインターネットの記述を見つけた。「中国語教材のジェンダー問題」（ブログ『虹色の世界へ』より）（<http://palmier105.blog.fc2.com/blog-entry-1024.html>（アクセス日2021年9月7日））

が喫驚に値する。また、中国語は、英語独語仏語など第二外国語としての伝統が長い言語に比べて、第二言語としての歴史は浅く、いまだ文法的規範の整備や教科書開発に取り組むことに精一杯で、教科書の文化的な内容まで考慮することができない段階であるのかもしれない。そして、教科書は比較的偉い人の書くものであるの、ある教科書を見て、例えば人称代名詞が<他>あるいは<她>のどちらか一方しか使われておらず¹⁸、「これはジェンダー的にありえない」と判断したとしても、様々な付度が働いた結果、何も意見表明されなかったのかもしれないし、ジェンダーの問題は個人的な問題の領域にも関係があるので、個々人によって許容範囲が異なるため文学や語学や歴史や社会や政治や経済や哲学の問題に比べて一般化しにくく、また、取り組む価値が他の学問的分野に比べて薄いと考えられているのかもしれない。そして、最後にもっとも危惧すべきことであるが、教科書を作る側、使う側それぞれが、そもそも中国語の教科書に性差別的表現が含まれていることを気がついていないことも考えられる。

2. 教科書分析

2.1. 扱った教科書

小文では、福岡大学の共通教育で用いられている教科書3点（『漢語課本』『漢語課本II』『漢語課本IIB 福岡旅情故事』）の他に、主に九州地区の大学や教育機関で近年用いられている教科書について、公開されているシラバスを参考にして収集し、調査の対象とした。範囲を九州地区に限定したのには特に意味はないが、筆者はジェンダーの専門家でもなければ教科書研究を専門にしているわけではないので、現在出版されている教科書を限られた時間の中で網羅することは不可能である。限られた地区内ではあっても、シラバスで公開使用されている数点を抑えることで現状の把握はある程度可能であると考えたからである。

下表は、調査に用いた教科書のリストである。『1年次用教科書（初級）』と『2年次用教科書（中級以上）』に分け、それぞれ発行年順に並べた。調査結果は、挿画と本文および例文とにわけて行った。性差別や性的偏向を克服できていないと思われる画例や文例は●を、性差別を克服している、性の平等に配慮していると思われる画例や文例には○をつけた。

なお、小論はデータベース化を目指したものではないので、数が多い場合には全てを挙げることはせず、いく

つか代表的なものにしぼってとりあげている。興味のある方は実際の教科書で確認していただきたい。また、本稿の目的は、筆者の個人的な判断により性差別的表現を指摘し問題を喚起することであって、そのことを通して修正や削除を依頼要求するものでは決してないことをここで繰り返し述べておく。

2.1.1. 初級（1年次用）中国語教科書

	書名	編著者	出版年	出版社
1	ドリル式中国語テキストI	相原茂、守屋宏則、刈間文俊、朱春躍	1985	くろしお出版
2	ドリル式中国語テキストII 王莉と理恵	相原茂、守屋宏則、刈間文俊、朱春躍	1987	くろしお出版
3	語法ルール66-漢語精粹-	相原茂、玄宜青	1989	朝日出版社
4	中国語の最初歩	野島進、王宣	1988	三修社
5	話す中国語 基礎編	董燕、遠藤光暁	1998	朝日出版社
6	実力中国語	岩佐昌暉、荀春生、日下翠、西山猛	1999	中国書店
7	一年生のころ	相原茂、陳淑梅、飯田敦子	2000	朝日出版社
8	話す中国語 北京編 1~4	董燕、遠藤光暁	2001	朝日出版社
9	汉语步步高	武继平、苞山武义	2002	中国書店
10	学ビテ時ニ之ヲ習フ	相原茂、郭雲輝、保坂律子	2006	好文出版
11	ひねくれ燕燕	相原茂、郭雲輝	2007	朝日出版社
12	発音重視型 はじめての中国語	朱春躍、中川正之	2008	白帝社
13	音読中国語 入門編	相原茂、蘇紅	2015	朝日出版社
14	読み書き話す聞く 中国語の基本	新谷秀明、王宇南	2017	朝日出版社
15	日中いぶこみ交差点	相原茂、陳淑梅、飯田敦子	2017	朝日出版社
16	ニーハオ！ニッポン ぶりむけば中国語	相原茂、朱怡穎	2018	朝日出版社
17	オリンピックへようこそ 会話編	徐送迎	2018	朝日出版社
18	シンプルチャイニーズ 北京文法編	早稲田大学理工学術院 中国語部会	2018	朝日出版社
19	日中いぶこみ交差点 エssenシャル版	相原茂、陳淑梅、飯田敦子	2019	朝日出版社
20	中国語入門ルール66	相原茂・玄宜青	2019	朝日出版社
21	中国語で伝えよう コミュニケーション・チャイニーズ	楊凱榮、張麗群	2019	朝日出版社
22	あなたが主役 演じる 入門中国語	余潤、中桐典子	2019	朝日出版社
23	リスニング強化 演じる 入門中国語	李林静、余潤、中桐典子	2020	朝日出版社
24	きっかけ24	相原茂 蘇紅	2020	朝日出版社

¹⁸ 相原茂・玄宜青『中国語入門ルール66』（朝日出版社、2019）では三人称代名詞を用いた例文が1例を除きほぼ<他>を用いる。三人称代名詞の説明でも<她>は独自に扱われず<他（她）>（p.30）のように表記される。相原茂・蘇紅『音読中国語』（朝日出版社・2015）では、三人称代名詞を用いる例文が全て<她>で構成されているなどの偏りをみることができる。

25	行ってみよう！中国語への旅 世界遺産へようこそ	山下輝彦、黄漢青	2020	朝日出版社
26	中国語でコミュニケーション	水野善寛、小嶋美由紀、海峽芳、紅粉芳恵、阿部慎太郎	2020	朝日出版社
27	スリム版 中国語で伝えよう！	楊凱榮、張麗群	2021	朝日出版社
28	漢語課本2021	福岡大学中国語教科書研究チーム	2021	金星堂

2.1.2. 中級、準初級（2年次以降用）教科書

	書名	編著者	出版年	出版社
29	ドリル式中国語テキストII 王莉と理恵	相原茂、守屋宏則、刈間文俊、朱春躍	1987	くろしお出版
30	新聞で読む 21世紀の中国	今田好彦、梁春香	2002	白帝社
31	大学生中級中国語	武継平	2002	白帝社
32	2年生のコミュニケーション中国語	劉穎	2002	白水社
33	新版 中国語さらなる一歩	尹景春、竹島毅	2002	白水社
34	心に残る中国語	関西大学中国語教材研究会	2005	金星堂
35	シャドウイングで学ぶ中国語文法	長谷川正時	2005	スリーエーネットワーク
36	中国ってどんな国？	張継濱 小川文昭	2006	白水社
37	音読したい中国語 中級	崎原麗香 万里	2009	朝日出版社
38	変化する中国	本間史 孟広学	2009	白水社
39	中国語 つぎへの一歩	尹景春 竹島毅	2010	白水社
40	中国語のかけはし—初級から中級へ—	瀬戸口律子・汪玉林	2010	駿河台出版社
41	2冊目の中国語	劉穎ほか	2012	白水社
42	2年目の中国語ポイント45	本間史、孟広学	2014	白水社
43	日中いぶこみ12景	相原茂 蘇明	2014	朝日出版社
44	大学生のための現代中国12話・④	黄漢清 杉野元子	2015	白帝社
45	チャレンジ！2年生の中国語	南勇	2015	朝日出版社
46	中国語のおもてなし	本間ゆかり、蘇紅	2017	郁文堂
47	ことばと文化 一挙兩得 中級中国語	陳淑梅 陸薇	2017	朝日出版社
48	知っておきたい中国事情	吉田泰謙 相原里美 葛婿	2017	白水社
49	漢語課本II改訂版	趙葵欣 董玉婷	2018	朝日出版社
50	巨大中国の今	張恒悦ほか	2019	白水社
51	2年目の伝える中国語 自分のこと日本のこと	及川淳子	2019	白水社
52	仲間で話そう中国語 初級から中級へ	徐送迎	2019	朝日出版社
53	日中いぶこみ劇場	相原茂、費燕、蘇明	2020	朝日出版社
54	漢語課本IIB 福岡旅情 故事	福岡大学中国語教科書研究チーム	2020	(試用版)

55	赤シート付 読み書き話す+聴く 中国語の基本 ステップアップ 編	新谷秀明 王宇南	2021	朝日出版社
----	----------------------------------	----------	------	-------

2.2. 挿画

教科書のイメージを決定づけるもののひとつに挿画がある。1年生用の教科書では、会話体の教科書が主流であり、会話の内容を補足的に理解させるためイラストや写真を有効に利用しているものも多い。挿画はスキットをイメージしたものであることもあれば、練習問題やスキットとはあまり関係のないコラム的なものである場合もあり、女性である必然性のないものがほとんどである。

本文とは関係なく、女性ということ強く連想させる写真や絵、長い髪の毛や首筋、胸部、腕や足などの部分を強調するような絵や写真が多く用いられている教科書もある。まだ、男性を描く場合に、必要以上に眉毛や筋肉のもりあがりや線を強調するものもある。

2.2.1. 挿画と男女差別

挿画と男女差別に関する問題点として、以下のようなことが挙げられる。

- (1) 家族を描いたものでは男性のほうがより大きく描かれる
- (2) 母親はエプロンを着用して、料理、配膳、掃除などを行っている
- (3) 性別によって固定的な役割分担がみられる
- (4) 彩色のある場合は、女性は暖色系の服を着て、男性は寒色系の服を着る
- (5) 本文とは関係のない場面で女性の画像が使われる
- (6) 露出度の高い女性の写真またはイラストの使用。女性の体の一部を強調した挿画が用いられる
- (7) 少数民族の紹介では女性のみが描かれる

■『ドリル式中国語テキストII 王莉と理恵』（相原茂他、1987年、くろしお出版）

p.60 挿絵は抽象的で、男女の区別がはっきりしないような絵であるが、時折極端に女性らしさを連想させるイラストが描かれている。絵は全体的にカリカチュアライズされたもので、上半身（主に顔だけ）の描写が主であるが、テキスト後半になると、足が露わになっている絵があったり、ドアからハイヒールを履いた足が出ている場面（p.79）などが出てくる。

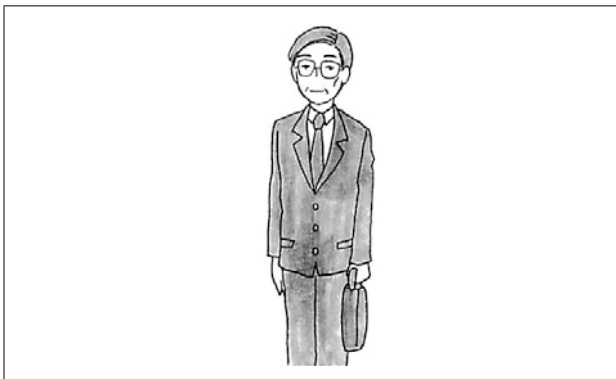


◎本文の登場人物は全員女性。イラストは、カリカチュアライズされていて、特にジェンダーを強調していない。(左p.20、右p.30)



●王莉（左側、メガネをかけた方の女性）が座布団に座っていて、脚部、特に右脚が太股の付け根からずっと露わになっている絵があって一瞬どきとする。中国人女性なので、正座ができずに横座りをしている、ということであろうか。(p.60)

■『話す中国語 基礎編』（董燕、遠藤光暁、1998年、朝日出版社）



◎夫は会社員、妻は商店に勤める。(p.42) 中国語の教科書で日本人妻が職業を持つ設定になっている教科書は稀である。

■『一年生のころ』（相原茂、陳淑海、飯田敦子、2000年、朝日出版社）

ドリル 次の絵を見て質問に答え、会話の練習をしましょう。

A

B

C

D

二人は同じ大学の学生でした。
中山君には内田君とというガールフレンドがいます。

3人で書へ出かけます。
中山君、かに取りむずかしいよ。

全ての挿絵で女性は男性よりかなり小さく描かれる。(上p.51、中36、下p.48)

特にp.51では内田の身長が150センチと具体的に示される。現実の世の中には背が高い女性もいれば背が低い女性もいるのでこれ自体はどうということはないが、日本政府の統計 (<https://www.e-stat.go.jp/>) によれば、2000年当時では小学校6年生女兒の平均身長であり、2000年高校3年生女性の平均身長は158.1センチメートルと比べても8センチほど低い。高身長崇拜のある中国人の目線で、日本人の身長は低いということを強調するためだろうか。

■『学ビテ時ニ之ヲ習フ』（相原茂、郭雲輝、保坂律子、2006年、好文出版）

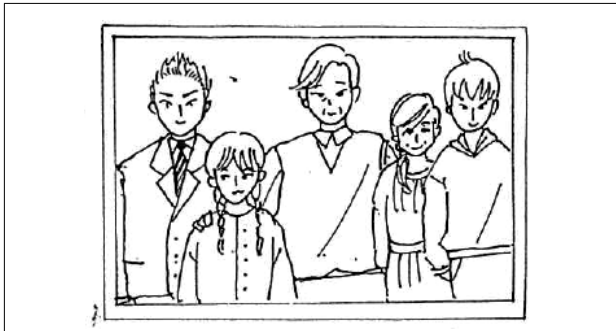
【漢字・クイズ】

次の語は世界的に有名なブランド名です。発音からあててみましょう。

- ① 爱马士 Àimáshì
- ② 古姿 Gǔzī
- ③ 巴宝莉 Bābǎolì
- ④ 夏奈尔 Xiànnài'ěr
- ⑤ 迪奥 Dì'ào

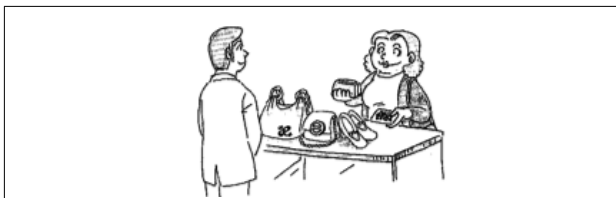
●コラムの挿画に化粧品モデルの女性の写真が使われている。クイズの内容と女性モデルとの関連性は不明。化粧品関係のクイズだから女性の出てる写真を選んだのだろうか。

■『発音重視型 はじめての中国語』朱春躍、中川正之、2008年、白帝社。



●鈴木一家の「全家福」。父親が中心に大きく写る。母親は、「鈴木」と父親の間で小さく写る。妹も一回り小さく描かれるが、母親が後ろに隠れてるのは対照的に娘は前に出ている。兄と鈴木本人は髪の毛が立って眉が上がり背も高く意思が強そうに描かれる。(p.34)

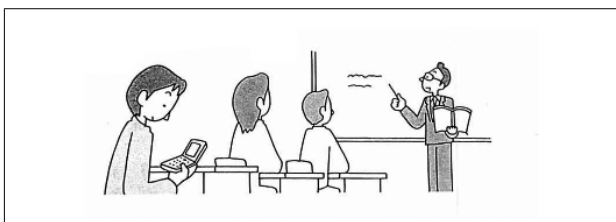
■『変化する中国』孟広学、本間史、2009年、白水社。



●「改革開放政策によって豊かになった人は、衣食住のあらゆる面でお金を惜まず使っている…」(p.29) ブランド品を買い漁る女性の図。

■『音読したい中国語 中級』(崎原麗香、万里、2009年、朝日出版社)

◎全体的に挿画少なめ。あっさりした絵柄。女性か男性かよくわからない人物である。



●授業中に携帯電話を操作する学生。教師は男性。(p.21)

■『日中いぶこみ12景』相原茂、蘇明、2014年、朝日出版社 (中級)

4. 漫画を見て、結果補語を覚えましょう

①彼女は彼からメールを受け取りました。
“收到” shoudao

②彼は彼女のことが「好きになった」と告白した。
“喜欢上” xihuanshang

③彼は彼女に自分の告白の言葉覚えてほしいと言う。
“记住” jizhu

④彼女は彼に心を動かされました。

●p.13練習問題。男性が女性に突然ショートメールで好意を告白して女性の心を動かす。4コマ目の男女の写真は、女性が一回り小さい。

●「次のページの絵を見て彼女たちの洋服の色を言ってみましょう」(p.69-70)

④ 次のページの絵を見て彼女たちの洋服の色を言ってみましょう。

衬衫 (白い色) chènshān	毛衣 (ピンク) máoyī	大衣 (黒) dàyī	西服 (グレー) xīfú	T恤衫 (白) túxiān
裙子 (黄色) qūnzi	裤子 (茶色) kǔzi	鞋子 (青) xiézi	包 (緑) bāo	帽子 (ベージュ) màozi

她的 _____ 是 _____ 色的, _____ 是 _____ 色的。

1) 2) 3) 4) 5)

■『音読中国語』(相原茂、蘇紅、2017年、朝日出版社)



●着衣は女性らしさを意識している。民国時代の美人画あるいは昭和初期雑誌『少女の友』『少女倶楽部』の絵やイメージを彷彿とさせる挿画。(上p.50、下p.116)

■『読み書き話す 中国語の基本』新谷秀明、王宇南、2017年、朝日出版社



●挿画。教師は男性。(p.25)

■『中国語のおもてなし』本間ゆかり、蘇紅、2017年、郁文堂

◎イラストは大きく丁寧な印象であるが、人物の表情や服への書き込みは少なく、不必要に女性らしさや男性らしさを強調しない。



日本行きの飛行機の中で、キャビンアテンダントによる機内食の配膳の場面。(p.16)



◎銀行で外貨を両替する。(p.22) 受付には男女の職員が座る。

■『漢語課本II 改訂版』(趙葵欣、董玉婷、2018年、朝日出版社)

福岡大学で使用している2年次用の統一教科書。挿画はあまり書き込まれていない素朴な感じであるが、女性のほうが髪が長い姿で描かれている。

2018年刷の挿画に、萌え絵風の「妹」が姉の自転車を手に乗って行ってしまふ、という話があったが、次年

度以降は本文、挿画ともに「弟」の絵柄に変更された。福岡大学の1年次用の統一教材『漢語課本』(金星堂)では、登場人物の田中(左下女性)の家族構成が、父、母、兄2人、であるためか、2020年刷では絵柄は「弟」のまま、本文は<那天我的自行车被哥哥骑走了>に変更されている。



2018年刷。p.36。三人で太宰府に行く話をしていて、以前田中(左女性)が「妹」に自転車を乗って行かれて遅刻したことがあるという場面。妹のスカートが短く、下着が見えそうになっている。



2019年刷では「妹」から「弟」に変更になり、絵柄も少年風になる。

■『オリンピックへようこそ 会話編』(徐送迎、2018年、朝日出版社)

●「どちらが〜か」と外見を比べさせるイラスト。(p.53)

1 例にならい、イラストの語句を使って会話をしてみましょう。

1) 咖啡 红茶(好喝) kāfēi hóngchá	2) 饺子 包子(好吃) jiǎozi bāozi	3) 酸奶 牛奶(贵) suānnǎi niúniǎi	4) 面包 米饭(好吃) miànbāo mǐfàn
5) 飞机 新干线(快) fēijī xīngānxiàn(kuài)	6) 哥哥 弟弟(高) gēge dìdì(gāo)	7) 姐姐 妹妹(漂亮) jiějie mèimei(piàoliang)	8) 其他(帅) wó tā(shuài)

●絵を見て「お母さんは～しますか」と言わせるイラスト。
9から10の腰の曲がって皺のある女性が母親か。(p.83)

1 例にならい、イラストの語句を使って会話をしてみましょう。

1)  看报纸 kàn bàozhǐ	2)  做广播体操 zuò guāngbō tiāocāo	3)  锻炼身体 duànliàn shēntǐ	4)  给妈妈打电话 gěi māma dǎ diànhuà
5)  唱卡拉OK chàng kālāOK	6)  泡温泉 pào wēnquán	7)  开会 kāihuì	8)  写报告 xiě bàogào
9)  出去 chūqu	10)  回来 huílai	11)  上楼去 shàng lóu qù	12)  下楼来 xià lóu lái

■『ニーハオ、ニッポン』（相原茂、朱怡穎、2018年、朝日出版社）
中国人の日本観光をテーマにした教科書なので、和服姿の女性の写真が挿画に登場する。女性ではなく和服のほうに主眼があると捉えることもできるが、露天風呂に入る女性の写真、まで必要であろうか。開脚している女性体操選手の写真のように、「そこにその女性とそのポーズ、必要ですか？」と聞き返したくなる写真が多い。



大江戸温泉物語
03-5500-1126(代)
URL <http://www.oom.jp>
年中無休 11:00-次日9:00

p.106 温泉体験



穿和服畅游
北海道有名的观光地！

p.100 和服体験



Tax Free Shopping Guide

p.116 免税ショッピングガイド



p.134 2020オリンピックの紹介挿画



p.136 「人気の日本土産」

上半身服を着ていないように見える「女性」のほうではなく、「歌舞伎パック」がお土産。

■『日中いぶこみ交差点 エssenシャル版』（相原茂、陳淑海、飯田敦子、2019年、朝日出版社）


●イラストを見て下部に該当する語句を入れて練習してみましょう。

小孙 _____ 着。
小孙在 _____。

爸爸 _____ 着。
爸爸在 _____。

妈妈 _____ 着。
妈妈在 _____。

_____ 着。
_____ 在 _____。



●リビングルームで、母親は赤いエプロンをつけて立ったままキッチンで料理。息子はソファに横になって携帯電話を見ている。父親は椅子に座ってテレビを見ている。ニュース解説者も男性。(p.126)

■『あなたが主演 演じる入門中国語』（余濶、中桐典子、2019年、朝日出版社）

●中国に56の民族がいることを紹介。18の民族について挿画をしているが、回族が男性である以外は皆女性。チベット族だけが老婆のようにみえる。漢族だけ普通の洋服姿。(p.72-73)



■『中国語で伝えよう！ コミュニケーション・チャイニーズ』（楊凱榮・張麗群、2019年、朝日出版社）

「日本にホームステイする中国人留学生が受け入れ先の日本人家族や周りの人たちと交流する様子がさまざまな場面にに応じて展開」されている設定で、サラリーマンの父親、専業主婦の母親、大学生の娘と中学生の息子の一家にホームステイする中国人女性が登場する。空港から自宅に着くまで、留学生、父親、大学生の娘と中学生

の息子と自宅の立地や交通の便については紹介がなされるが、母親については〈这是我夫人〉(p.57)のみで、名前、年齢、職業については触れられず、次の課で娘と留学生が〈我妈妈做的菜怎么样？〉〈非常好吃。〉(p.63)という会話を交わす。挿絵では、母親はあまり身なりに構わない白毛のある中年女性として描かれ、エプロンを着用、杓子かフライ返しやお盆らしきものを装備している（筆者も長年主婦をしているが、お玉やダイコンを持って家の中を歩いたり玄関に出たことは一度もない）。編著者にとっての日本人の家庭中の母親のイメージを反映しているであろう。



空港からの帰り道、家族について話すが、「子供が何人いるか」は話題になっても、「妻がいるか」については話題に上らない。(pp.44-45)



ホームステイ先について、ようやく「母親」が登場する。母親はお盆を持っている (p.56)



エプロン、フライ返し、スリッパの3点セットで描かれる母親 (p.122)

■『スリム版 中国語で伝えよう!』(楊凱榮、趙麗群、2021年、朝日出版社)

『中国語で伝えよう!コミュニケーションチャイニーズ』(2019年)の簡易版。イラストは書き換えられている。

父親はサラリーマン、母親は主婦、子供二人、ホームステイに来た中国人女性1名が登場する。登場人物(p.20)

主な登場人物

田原亮 (夫)
(サラリーマン)

田原 様子 (妻)
(主婦)

田原雪 (娘)
(20歳 大学2年生)

田原 剛 (息子)
(14歳 中学2年生)

李梅
(19歳 中国人大学2年生)

■中国語でコミュニケーション、(氷野善寛他、2020年、朝日出版社)

いわゆる「萌え絵」と言われるジャンルに属する挿画。男性は極端に太い眉毛と角刈り(？)、太い首筋、上腕二頭筋の強調線によって男性性を強調する。

女子は、短いスカート、上衣は乳房にはりついてその形を強調する、スカートは下半身にはりついて腰や脚の部分にも線を入れて腰回りのラインを強調する。女性が微妙に体幹を捻るのも「萌え絵」に特徴的。



■『初級中国語きっかけ24』(相原茂、蘇紅、2020年、朝日出版社)

挿画はアニメ調。女性と男性はそれぞれ強調してはつきりわかるように描かれている。写真は、本文や例文に全く関連性なく女性の首や頭髪などを強調した写真、幼児の写真が数多く使われている。



p.33

你别唱了。
Ni bié chàng le.



哭 kǔ



笑 xiào

p.110

1. 她女儿在洗脸呢。
Tā nǚ'ér zài xǐliǎn ne.



刷牙 shuāyá



洗澡 xǐzǎo

p.74



p.52。北京オリンピックで「歌唱祖国」を歌う舞台にたったが歌は歌わなかった少女と似た髪型、ドレス。



美国人 Měiguó rén

p.38



韩国人 Hánguó rén

p.38

● 発音を聞いて、文を繰り返し、次に a、b に語句を置き換えて練習しなさい。

1. 她姓王，叫王莉纱。
Tā xìng Wáng, jiào Wáng Lìshā.



周冬雨 Zhōu Dōngyǔ



石原里美 Shiyuán Lǐměi

p.42

2. 我妈妈是家庭主妇，你妈妈呢？
Wǒ māma shì jiāting zhǔfū, nǐ māma ne?



老师 lǎoshī



医生 yīshēng

p.42

● 発音を聞いて、文を繰り返し、次に a、b に語句を置き換えて練習しなさい。

1. 今天很凉快。
Jīntiān hěn liángkuài.



热 rè



冷 lěng

2. 我今年十八岁。
Wǒ jīnnián shíbā suì.



妹妹 / 十七岁
Mèimei / shíqī suì



林志玲 / 四十四岁
Lín Zhiling / sìshísi suì

p.54

我们还没准备好呢。
Wǒmen hái méi zhǔnbèihǎo ne.



吃完 chīwán



唱够 chàngòu

p.74



p.56



p.100

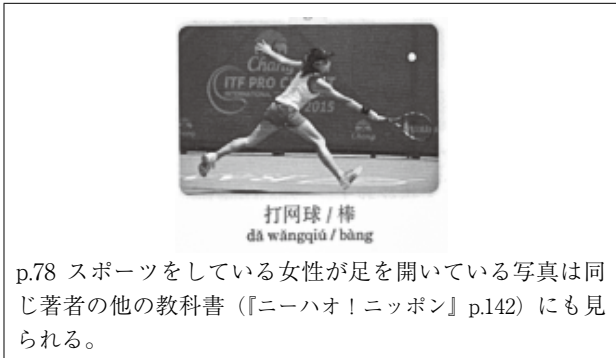


p.108 イラストでも、女性の露出が多かったり脚や胸が強調されているものが多い



喝饮料 hē yǐnliào

p.70



■『漢語課本2021』（福岡大学中国語教科書研究チーム、2021年、金星堂）

福岡大学の共通教育過程の初年度中国語において全学で使用している統一教科書。2012年の試用本以来、教科書を使う教員や学生の意見を参考に改定を重ねてきた。挿画も必要最低限のものしか描かれていないが、2012年「漢語課本 試用本」では、以下のような挿画がみられる。

记一记 jì yì jì (覚えてみよう) 発音しながら、覚えましょう。

①	②	③	④
中国人 Zhōng guó rén	日本人 Rì běn rén	韩国人 Hán guó rén	美国人 Mèi guó rén
汉语 Hàn yǔ	日语 Rì yǔ	韩国语 Hán guó yǔ	英语 Yīng yǔ

『試用本』 p.23→2021年版では問題ごと削除。

p.102 <她买东西多不多？>というリスニング問題の挿画→2021年も使用。

2.2.2. 職業と性差別

職業をイラスト化したものによって、教科書に隠された性差別はより明確になる。

男性の職業として〈公司职员, 医生, 律师, 大学教授〉などがある一方で、女性は〈不做工作, 家庭主婦, 售货员, 播音员〉と書かれたものが多い。絵で説明する職業に登場する人物がほとんど男性である場合もある。女性の絵を出す場合に、生鮮の買い物をしている姿や料理をしている教科書がみられた。

■『話す中国語 北京編3』（董燕、遠藤光暁、1998年、朝日出版社）



■『シンプルチャイニーズ 北京』（早稲田大学理工学術院中国語部会、2018年、朝日出版社）

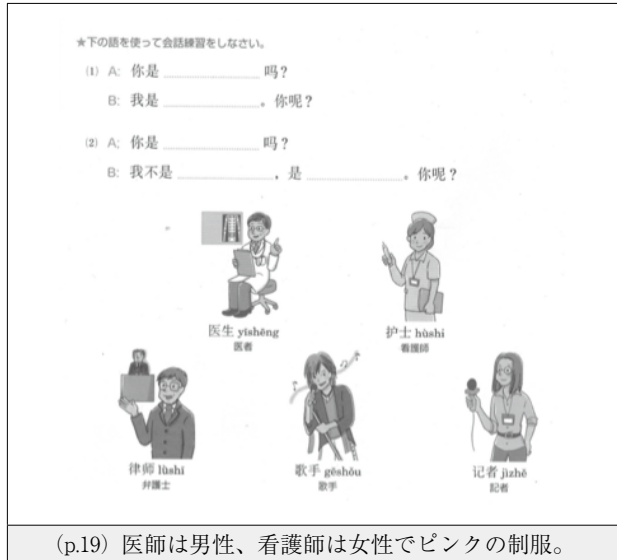
医者が2回登場する。どちらも男性で、権威をより増すためか高齢者のように描かれる。



■『漢語課本II改訂版』（趙葵欣、董玉婷、2018年、朝日出版社）



■『行ってみよう！中国語への旅』(山下輝彦、黄漢青、2020年、朝日出版社)



2.3. 本文および例文分析

性差別のみえる実際の用例をとりあげる前に、性差別を象徴するようないくつかの特徴的な事項(三人称の使用、親族呼称、家族構成、歴史上の人物、形容詞の使用、趣味や職業)について個別に解説する。

2.3.1. 三人称代名詞 (tā,tāmen)

現代中国語普通話の人称代名詞は、口頭では男性、女性、非人称にかかわらず全て単数では〈tā〉、複数では〈tāmen〉(ローマ字はピンイン表記)を用いる。一般に、男性の複数では〈他们〉、女性の複数では〈她们〉が用いられるが、男女がそれぞれにいる場合や性別を問わない場合は〈他们〉が用いられることが多い。また、人称代名詞を説明する場合も、〈她〉を書かなかったりカッコに入れて従属的に説明することもある。中国語は動詞の人称変化がないので、教科書によっては意図的かどうかはわからないが、『ドリル式中国語テキストII 王莉と理恵』(相原茂他、1987年、くろしお出版)、『中国語入門ルール66』(相原茂、玄宜青、2019年、朝日出版社)、『中国語の最初歩』(野島進、王宣、1988年、三修社)のようにほとんどの三人称に〈他〉〈他们〉を用いるものもある¹⁹。〈她〉〈她们〉の使用頻度がジェンダーに配慮していることの指標にもなるといえよう。

2.3.2. 親族呼称、家系図、家族構成

中国語のテキストでは、<有>構文の導入に際して<你家有几口人?>という家族の人数とその構成を訪ねる文

がよく用いられる。テキストによっては、その後、家族の職業についても尋ねたり言ったりする場面がくるが、しばしば母親の存在や職業は話題から外される。また、「日本では母親は働かない」という説明もよく加えられる。

日本語より複雑な親族呼称を理解しやすくするために、家系図的な表が示されることが多いが、<我>のところにはだいたい男性が描かれている。家系図というのがそもそも男系だけを書き残すためにあるととらえられているためであろうか。

■『音読中国語』相原茂、蘇紅、2017年、朝日出版社



●「私の家族」という図で、家系図が描かれ、<我>(私)からみた相対的な家系図が描かれる。<我>は男性である。(p.63) また、左下に説明がある。

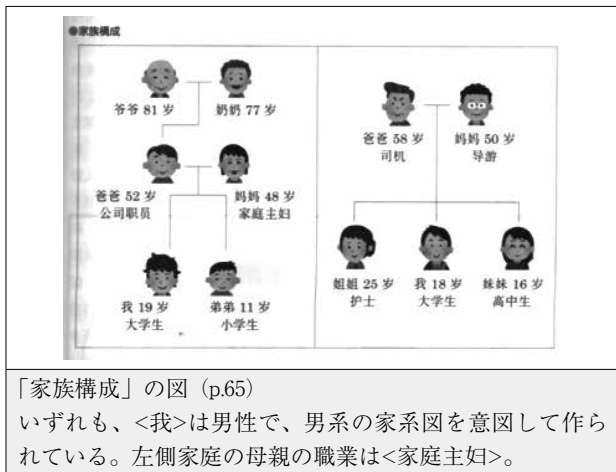
「祖父は父方か母方かで言い方が変わる。子供は男なら“儿子”、女なら“女儿”だ。孫も、“孙子”sūnziとすれば男の孫で、女なら“孙女”sūnnǚ'érというよ。要するに呼称に残る男性優位社会だ。」(p.63)

つまり、この教科書では中国は昔は男性優位社会であったことを示すために、意識的に男性である<我>を中心とした家系図を描いたと考えられる。

また、男性の卑属として、<爱人>との間に生まれた息子と娘までしか描かれていないので、ここで<我>が男であるべき積極的な意味が見つからない。というのは、<我>の孫の代まで行けば、息子の子であれば<我>の<孙子、孙女>であり、娘の子であれば、<外孙子、外孙女>として、男性優位社会の名残として女系の親族は<外戚>すなわち<外人>であるから<外>をつけるという有意味な説明ができるが、その場合、別に<我>は男であっても女であってもかまわないからである。

¹⁹ @では一例のみ、〈她〉を用いた例として〈她越来越能干了。〉(146)がある。その他、三人称代名詞の説明で〈她〉を〈他(她)〉(p.30)〈他有二十个孙子。〉(彼には20人の孫息子がいる。)のような例文がある。

■中国語でコミュニケーション（氷野善寛他、2020年、朝日出版社）



2.3.3. 人物の図式化と固定化

会話の登場人物のパターンにおいても、性的偏向の存在を知ることができる。一年次の教科書では、男女のペアで、男性は日本人学生、女性は中国人の留学生とその親友で、主に男性が女性にいろいろなことを教えながら話が進行していく流れになっている。

中国人女性は可愛らしく、日本人女性はしっかりして真面目で勉強もよくできて面倒見がよい。男性の性格はおおらかで細かいことをあまり気にしない、サークルやバイトに忙しくていつも睡眠不足で朝はギリギリまで寝ているかよく朝寝坊をする。勉強が苦手なこともあり、成績は日本人女性よりも劣り、試験の前になると日本人女性に助けを求めたりする。



『一年生のころ』（相原茂、陳淑海、飯田敦子、2000年、朝日出版社）や『漢語課本』（福岡大学）の登場人物にもそのような傾向を見ることができる。

講読本である『2冊目の中国語』（劉穎ほか、2012年、白水社）にもこのパターンを見ることができる。

●<我弟弟还是一个初中生，整天光玩儿，不太用功。不过，成绩还可以。> (p.10)（筆者訳：私の弟はまだ中学生であり、一日中遊んでばかりでありあまり努力しない。しかし、成績はまあまあだ。）

スキットの中の対話を行う人間が男女2人組である場合、挨拶や自己紹介から始まって、授業が進むに従って主要人物間の関係が親密になっていくテキストが見られるが、そのような場合、場面の流れを楽しむ学習者もいるだろうし、逆に、授業中での擬似的な練習とはいえ、「她是不是你女朋友？」（『一年生のころ』 p.46）のような会話を楽しめなかったり、「いっしょに何かを食べると親しさが増します」（『一年生のころ』 p.42）、「あの日の青年が気がかりな中山君。こんなとき男はやさしくなる。」（『一年生のころ』 p.82）のような文面に不快感を催す学習者もいるであろう。

男女関係の話は学生の興味を引くための一種の戦略ともとらえることができるが、大学等で用いられる教科書の内容としてはどうであろう。重要なことは、履修者には授業で使う教科書を選ぶことはできないということである。あらかじめシラバスで、時間割や教員、使用教科書を確認できたとしても、特に1年生の間はクラスを選ぶことはできない。選んだクラスの教科書が「男は外、女は内」式の性差別的表現に満ちていたり、『あなたが主役、演じる中国語入門』のように女性に母親や夫に献身的な妻の役を演じさせ露骨な肉体的接触を描写する教科書であった場合、特に女性の学習者がモチベーションを維持して授業に参加するのは困難かもしれない。

妈妈：太郎，快起来！（太郎，早く起きなさい。）
我：咦？现在几点了？（え、今何時。）
妈妈：已经八点半了。（もう8時半よ。）
我：真的？糟了，糟了。（まじっ？ヤバい）『あなたが主役、演じる中国語入門』 p.22 訳も同書による

丈夫：最近工作很忙，好累啊！（最近、仕事が忙しくて、めっちゃめっちゃ疲れるよ。）
我：是吗？那，我给你揉揉肩。怎么样？（そう？じゃあ私が肩をもんであげるわ。）
丈夫：嗯，好舒服啊！（ん～、いい気持ち！）『あなたが主役、演じる中国語入門』 p.48 訳も同書による

2.3.4. 歴史上有名な中国人

講読を中心とした教科書や、教科書の巻末のコラムなどでは、具体的な教材として、歴史上の人物や、小説を題材とする場合に男性の人物や作家を取り上げることが多い。『音読中国語 入門編』（相原茂、蘇赤、2015年、朝日出版社）では、「知ってる中国人」9人全てが男性であった。

『福岡旅情故事（試用第3版）』でも、主に福岡県に関する歴史上の人物や文化事象を題材として教材が編まれ

ているが、登場するのは全て男性である。取り上げられる都市における祭りの題材（博多山笠）もまた男性を中心として盛り上がる行事である。

『心に残る中国語』（関西大学中国語教材研究会、2005年、金星堂）は、中国の現代文学を中心に7人（毛沢東、老舍、王曾祺、席慕蓉、冰心、魯迅、朱自清）の作品を全13課の教材としており、そのうち2人は女性（席慕蓉と冰心）の作品（3課分）であることは特筆に値する。このような教科書では、例文においても女性を差別するような表現は含まれていない。

また、『きっかけ24』（相原茂、蘇紅、2020年、朝日出版社）では、「名言コーナー」として、各界の著名人20人の名言を紹介する。そのうち女性が3人（オードリー・ヘップバーン、張愛玲、席慕蓉）が含まれていることも記しておく。

■『日中いぶこみ12景』相原茂、蘇明、2014年、朝日出版社

●「中国の英雄たち」（p.106）として、「中国人なら誰もが知っている英雄」が詳述される。現代中国での「英雄」とは、歴史上エポックメーカーな活躍をした人物ではなく、『現代漢語詞典（第七版）』の<英雄>の2番目の意味<不怕困难，不顾自己，为人民利益而英勇斗争，令人钦敬的人>であろう。男性6人。戦死、殉死、事故死、病死した者ばかり。日本人ではほとんど知名度はない。

- 雷锋（1940-1962）事故死
- 黄继光（1931-1952）朝鮮戦争で戦死
- 邱少云（1926-1952）朝鮮戦争で戦死
- 王进喜（1923-1970）油田を開発。病死。
- 焦裕禄（1922-1964）土地改良に尽力、病死。
- 欧阳海（1940-1963）列車の脱線転覆を防ぎ自ら犠牲になる。

■『音読中国語』相原茂、蘇紅、2015、朝日出版社。



■『漢語課本2021』（福岡大学中国語教科書研究チーム、2021年、金星堂）

② 絵を見ながら、質問文を書き取り、さらに中国語で答えましょう。(80点)



p.92. 2012年『試用本』の時から変わっていない。

2.3.5. 人物を形容する語

女性には<漂亮><聪明>という表現がよく用いられる。男性は<帅>かどうかよりも、背が高いかどうかのほうがよく話題に上る。太っているか痩せているかという形容詞や、<減肥>という語もよく出てくる。

■『語法ルール66 - 漢語精粹 -』（相原茂、玄宜青、1989年、朝日出版社）

- <她漂亮吗？><漂亮，但是很厉害。> (p.39)
- <她越来越胖。> (p.85)

■『音読したい中国語 中級』（崎原麗香、万里、2009年、朝日出版社）

- <漂亮的女孩儿。> (p.44)
- <她永远也不知道累。> (p.59) (彼女はいつも疲れを知らない。)

■『音読中国語』2015年、相原茂、蘇紅、朝日出版社

- <你很漂亮。>「彼女はきれいです。」<她不胖。>「あなたは太っていないよ。」<他真固执。>「彼はほんとうに頑固ですね。」 (p.66)
- <他男朋友有点儿矮。> (p.66)
- <你不矮，他不笨。> (p.66)
- <你瘦一点儿，她胖一点儿。> (p.66)

■『日中いぶこみ交差点 エssenシャル版』相原茂、陳淑海、飯田敦子、2019年、朝日出版社

- <五官端正>や背の高さなどを入学資格、採用資格に取り入れる中国の風土を紹介する文。(p.79) 以下引用：

中国の対外的な任務に携わる人、外国官やスポーツマンなど、格好いい人が多いと思わないか。これには理由がある。外国との交渉に関わる人は、外国語大学を出るが、その入学資格に「五官端正」とある。目、鼻、口が端正であること、要するにハンサム、美人ということだ。これが入学資格なのだ。背丈にも制限がある。男性170センチ以上とかだ。彼ら彼女らは将来国を背負って立つ通訳になる、外交官になる。それを国のお金で養成するわけだから、見てくれもよくな

くちゃ、そう考えている。そう考えて、文書にし資格に
てしまうところがすごい。日本なら「いわれなき差別だ」
という声が上がらそうだ。

中国の対外的な任務に携わる人間は「五官端正」でなくてはならないし、そのための大学入学資格にも「五官端正」が資格として文書化されていることをとりあげている。共産党の一党独裁政権下にある全体主義的な中国という国だからこそまかり通る話である。政治系の学部でなくても、ほとんどの大学の「招生要求」（募集要項）に〈五官端正、身材匀称〉（目、耳、鼻、口、皮膚、目鼻立ちが端正で身体のバランスがとれている）等の外見的条件が求められている。これは典型的なルッキズム（外見至上主義）であると同時に身体障害者を排除する文言でもある。ある決められた基準によって外見を判断することは価値観の多様性を否定することでもあり、体型、骨格、髪の色、肌の色、目の色は本人の努力ではどうしても補えない、変えることがむずかしいことなのに、画一化された社会でのみ許容される不自然な美意識を押し付けられることに違和感と不快感を感じる。学びの場において、結局容姿がダメだったらどんなに努力して学んでも無駄と宣言されているようなものである。2008年北京オリンピック開会式で行われた「国益的措置」による少女の口パク替え玉「演出」を彷彿とさせる。日本であればこれは「いわれなき差別」ではなく、人権を無視した「不当な差別」として非難されるであろう。

■『中国語入門ルール66』（相原茂・玄宜青、2019年、朝日出版社）

●<他很高。><我很胖。> (p.19、形容詞述語文の例文)

■『チャレンジ！二年生の中国語』（南勇、2015年、朝日出版社）

●她穿着一条白裙子，很漂亮。(p.8)

●今天这么热，她却穿着毛衣。(p.9)

■『読み書き話す聞く 中国語の基本』（新谷秀明、王宇南、2017年、朝日出版社）

●「彼女の妹は可愛いし、聡明である」(p.87)

2.4. 本文、例文に見えるジェンダーバイアスの表現

ここでは、これまでとりあげた典型的な例以外の性差別的表現を、教科書ごとにとりあげる。（なお、何度も書いているが、これは筆者の見解であって、ここで性差別的な表現かもしれないと指摘したとしても、改修や撤回を求めているのではないことをお断りしておく。）

2.4.1. 初級用教科書

■『現代の中国語』（興水優、1970年、三修社）

◎呼称、敬称として、女性男性の別なく使える<同志>を紹介する。(p.12)

中国語の敬称として現在は一般に、男性には<先生>、女性には<小姐><女士>とそれぞれ使う。以前には性別を考慮せずに使える<同志>という便利な呼称があったにもかかわらず、現在ではあまり使われなくなったようだ。

■『ドリル式中国語テキスト』（相原茂他、1985年、くろしお出版）

●<他（她，它），他（她，它）们> (p.31)

例文は、<他><她>どちらも中立的な意味で同じくらいの頻度で用いられている。一方、「かれら」は<他们>とのみ表記される。

●<B:我是学生><B:我爸爸是医生。>

<A:你有哥哥吗? B:有。他是棒球教练。>

<A:你家里还有什么人? B:还有一个姐姐。她在公司工作。A:干什么? B:打字。> (p.56、家族の紹介)

聞き手は、「お兄さんがいますか」とは聞いても、姉妹がいるかとは聞かない。姉は会社でタイピストをして働いている。母親の話題は出てこないのは、いないのか、話題にのせないのかどちらであろうか。

■『中国語の最初歩』（野島進、王宣、1988年、三修社）

テキストが1980年代に作られたものであるせいか、ジェンダーにはほとんど配慮がされていない。まれにぎょっとするような例文が入っている。

●三人称は<他>、<他们>のみが描かれる。「注」として、<「他」は時に、「她」や「它」で示されることがある。「她」は彼女、「它」は物あるいは動物などに用いられます>という説明がつく。

●<女儿二十了，该订亲了。> (p.91) <应该>を学習するための例文である。

●<我有了。> (p.108) 本文訳：「赤ん坊ができた（妊娠した）」

●<晋琴打过她三次了。> (p.191)

☞<晋琴>は名前からすると女性か？「彼女」を「三回殴ったことがある」らしい。

●<妹妹洗衣服。><妹妹洗干净了衣服。> (p.192)

■『語法ルール66 - 漢語精粹 -』（相原茂、玄宜青、1989年、朝日出版社）

●第3人称 <単数 他（她）tā、複数 他（她）们 tāmen> (p.12)

●複数形は例文中でもすべて<他们>が用いられる。

■『実力中国語』岩佐昌暲他、1999年、中国書店

●テキストを通じて、主格にくる代名詞tāにはほとんど<他>を用いる。(p.66に她1例)

●<父亲在公司工作。> (p.39)

●「お父さんはどこにお勤めですか。」(p.41)

●A: 你父亲在哪儿工作? B: 他是职员。他在公司工作。(p.48)

家族構成について話す会話。父親の職業だけが話題になる。

●<我父亲去过三次美国。><他想去中国留学。>(p.59)

●<妈妈在做饭呢。> (p.69)

●<爸爸在沙发上坐着。> (p.70)

●<他会开汽车。><妹妹不会游泳。> (p.75) ←<会>の例文。「彼」は車の運転が「できる」が、「妹」は「泳ぐことができない」とある。

■『一年生のころ』(相原茂、陳淑海、飯田敦子、2000年、朝日出版社)

学生中山純也と内田香織は最初交際していたが、中国人留学生林静の登場で中山は林静のほうを選択、こっそりデートするなど二股かけたあげく、放置された内田はどうやら別に彼氏をつくり、中山は内心すこし後悔するも、こころおおきなく林静とつきあうことができてよかったというストーリー。20年ほど前に書かれた教科書なので典型的な性差別や女性蔑視、女性嫌悪の感情を含む表現が随所にみられる。

●「振り返ってみれば出会いはいつも突然です」(p.30 第1課導入)

●「食堂でランチを食べます。いっしょに何かを食べると親しさが増します」(p.42第3課導入)

●「3人で街へ出かけます。中山君、かじ取りむずかしいよ」(p.48第3課導入)

※『論語』の<唯女子与小人为难养也，近之则不逊，远之则怨>(唯(ただ)女子と小人とは養い難しと為す。これを近づくれば則ち不逊なり。これを遠ざくれば則ち怨む)(筆者訳：女性とつまらない人間は扱いにくい。親しくすれば馴れ馴れしくしてくるし、距離をおけば怨まれる)であろうか。女性嫌悪の表現。

●あの日の青年が気がかりな中山君。こんなとき男はやさしくなる。(p.82第9課導入)

●3人でテニス。できない林静がまたかわいい。(p.88 第10課導入)

※「できない」を「かわいい」と考えたり書いたり、「(女性は)できなくてもいい」とする社会的雰囲気を作り出すことは、女性の視野をますます狭め今後の成長の機会を奪うことでしかない。

●她是不是你的女朋友? (p.46)

●她长得很好看。(p.48)

●内田：你的衣服真漂亮！林静：你的也很好看。中山：嗯，都挺不错。(p.49)

●我的衣服怎么样？你的衣服很漂亮！(p.51) ※外見を評価する文ばかり出てくる。

●我的衣服不太好看。(p.51)

●彼のガールフレンドはほんとうにきれいだ！(p.52 練習問題)

●彼女はあまり背が高くない。(p.52練習問題) 挿画でも、女性は男性より小さめに描かれ、内田の身長は「150センチ」と当時の成人女性の平均身長より8センチ以上小さい設定である (p.51)。

●テストの成績がかえってきました。内田さんは優等生。(p.56)

●她的衣服比我好看多了。(p.57)

●中山は林静より少し背が高い。(p.59)

●我的衣服挺漂亮吧。(p.60)

●内田成绩很好。(p.72)

◎爸爸给孩子做饭。(p.97)

■『汉语步步高』武继平、苞山武义、2002年、中国書店

●我爸爸今年五十岁，是公司职员。我妈妈今年47岁，是家庭主妇。(p.28)

●妈妈洗衣服。(p.46)

●妈妈今天去商店买东西。(p.53)

●她很会做饭。(p.68)

●爸爸从公司回来了。(p.74)

■『学ビテ時ニ之ヲ習フ』相原茂、郭雲輝、保坂律子、2006年、好文出版

日本人男子学生と中国人女子留学生が会話の主人公。

●李静：你有没有女朋友？田中：我有很多女朋友。李静：啊，是吗？田中：你有几个男朋友？(p.46)

●李静：我只有一个男朋友。田中：只有一个？是日本人还是中国人？李静：他是中国人。(p.47)

■『ひねくれ燕燕』(相原茂、郭雲輝、2007年、朝日出版社)

●她不胖。(p.46例文)

●燕燕：我爸爸叫“死鬼”。老师：不对吧。燕燕：真的。我妈妈就这么叫我爸爸。(p.64本文)

●“死鬼”：「くたばりぞこない。罵り言葉である。罵ることができるということはそれほど親しい間柄であるとも言える。」(p.64単語説明<死鬼>)

●昔は女房を「おかちめんこ」とか、亭主を「うちのうすのろ」とか言っていた。(p.64単語説明<死鬼>)


※夫婦がきたない言葉で罵りあう。両性の間には遠慮もなければ尊敬すらない。

●発音の説明に男女関係を例に挙げて説明するもの、猥雑な例えで説明するものがある。

4 消えるoとe
 複母音のiou, ueiが声母と結合して音節を作ると、iu, uiのように、まん中の母音が弱くなる（ただし、第3声の時はわりあい明確に聞こえる）。このため、次のようにoやeを省略して綴る。

i + iou → liu j + iou → jiu <消えるo>
 t + uei → tui h + uei → hui <消えるe>

i(イ)とU(ウ)の間にはなにかが隠れている




ピンインiを「私」、uを「you」で説明する図 (p.16)

5 同じiでも違う音

三つのi

- jī qī xī …… [i] するとい
- zhī chī shī rī …… [ɿ] こもったi
- zī cī sī …… [ɿ] 平口のi

3つのi(愛)




ピンインiを「愛」で説明する図 (p.17)

● ふぞろいなe系列の秘密

<介音>

ゼロ	en	eng
i	ien	icng
u	uen	ueng
ü	üen	

かくれている△のe音をちよびひきはくと発音がぐうとうまく聞かえるよ!



女性の身体の一部に例える (p.21)

3 eのヴァリエーション
 eはあいまいな性格の音。だれと相棒を組むかで音色が変わる。3つに分けて覚える。

e1 単独であられるか、頭子音と結合する。腰のつばを押され「痛キモチイ！e」。 e, ge

e2 母音と組むと「ハッキリe」になる。組む母音はすべて前寄りだから、それに引きずられ前寄りになる。 je, ge


e3 “的” deや “了” leのような軽声では、eのあいまいな性格に拍車がかかり、ほんやり「ゆるんだe」になる。 de, le

-nや-ngと結合した時も同様で、e1「痛キモチイ！e」だが、-nは前寄りだから、ややはっきり。

跟 gēn 什么 shénme

-ngは後寄りだから、ややこもった音。

风 fēng 朋友 péngyou



ピンインeヴァリエーションの説明。説明がフィジカルで人によっては猥褻な嫌がらせと捉えてしまうかもしれない。(p.23)

■『発音重視型 はじめての中国語』（朱春躍、中川正之、2008年、白帝社）


- <妹妹洗衣服。><妹妹洗衣服吗？> (p.13例文)
- <周：你妈妈工作吗？><铃木：不，他在家，不工作。> (p.43本文)
- 我哥哥在贸易公司工作。(p.47例文)
- 她可能病了。(p.72例文)

■『音読中国語』2015年、相原茂、蘇紅、朝日出版社

- 発音の説明に男女関係を例に挙げて説明するもの、猥褻に近い例えで説明するものがある。

(2) en — eng

mén [門]	méng [萌]
fēn [分]	fēng [風]
wēn [温]	wēng [翁]



<萌>の挿画 (p.16)

3 eのヴァリエーション
 eはあいまいな性格の音。だれと相棒を組むかで音色が変わる。大きく3つに分けて覚える。

e1 単独であられるか、頭子音と結合する。腰のつばを押され「痛キモチイ！e」。 “歌” gē “歌” gē

e2 母音と組むと「ハッキリe」になる。組む母音はすべて前寄りだから、それに引きずられ前寄りになる。“给” gěi “学” xué


e3 “的” deや “了” leのような軽声では、eのあいまいな性格に拍車がかかり、ほんやり「ゆるんだe」になる。“的” de “了” le

-nや-ngと結合した時も同様で、基本的にはe1「痛キモチイ！e」だが、-nは前寄りだから、ややはっきり。

e1 跟 gēn 什么 shénme

-ngは後寄りだから、ややこもった音。

e1 风 fēng 朋友 péngyou



ピンインeヴァリエーションの説明。説明がフィジカルでもはや駄洒落を超えて猥褻さが垣間みえる (p.17)

- <她有男朋友？> (p.66)
- <十八姑娘一朵花，眉毛弯弯眼睛大。> (p.63)「音読プラス1」という課題にある文。
 <十八姑娘一朵花>や<十八姑娘>など様々なタイトルがある。若くて美しい女性が、貧しい若者と金持ちの老人どちらに嫁ごうかと迷う歌。若い女性を性的対象として捉え、女性の結婚願望を酷評するかのような歌である²⁰。
- <妈妈做好饭了。> (p.130)

■『日中いぶこみ交差点』（相原茂、陳淑梅、飯田敦子、2017年、朝日出版社）

■『日中いぶこみ交差点 エッセンシャル版』（相原茂、陳淑梅、飯田敦子、2019年、朝日出版社）

- ◎我爸爸是老师，妈妈也是老师。(p.51本文。母親の職業を提示している)
- 「あなたの服、なかなかきれいです。」(p.101練習問題)
- 她做菜做得非常好。(p.118例文)
- 「イラストの「いろいろな会社」を見て、下線部を他の後に置き換えて言ってみましょう。」
 A 你爸爸在哪儿工作？ B 他在贸易公司工作。(p.115練習問題)
- 他们都穿着红色的衣服。

²⁰ しかし、この歌は、もともと1936年に台湾語をベースに作られた。日本語の歌名は「蕃社の娘」であり、歌手は霧社事件（1930）で犠牲になった日本人警察官とタイヤル族の頭目の娘との間に生まれた女性歌手である。この歌は、台湾語から日本語、客家語、広東語、北京語、英語の6種類の言語に翻訳され、その複雑な背景にもかかわらず、戦後から70年以上経った現在も歌い継がれている名曲であり、単に女性を性的対象ととらえ、女性の結婚願望を酷評した歌ではないことも受講生に伝えたい。

※「彼ら」はジェンダーの枠にとらわれず男性が皆赤い服を身につけている、ということであろうか。

■『読み書き話す聞く 中国語の基本』(新谷秀明、王宇南、2017年、朝日出版社)

●她不吃早饭。(p.31)

●<妈妈在家。><妈妈不在家。><妈妈在家吗？><妈妈在不在家？>(p.48-49)

※存在を表す<在>の肯定文、否定文、一般疑問文、反復疑問文のための例文。他には、<你的手机在桌子上。>と<车站在学校的前边。>という文がある。母親は家の中にいるべきだ、ということであろうか。

●<她有男朋友。><她没有男朋友。><她有男朋友吗？><她有没有男朋友？>(p.52)

※所有を表す<有>のための例文。性的先入観、偏向というよりも嫌がらせやいじめに近い。貴重な授業時間中に、なぜこういうことを話題にして練習しなければならないのだろうか。p.53では更に「彼はガールフレンドがいますか？(一般疑問文)」「彼はガールフレンドがいますか？(反復疑問文)」「彼はガールフレンドがいます。彼女は北京にいます」という日文中訳の練習問題が付属する。余談であるが、「ガールフレンド」「ボーイフレンド」という日本語も今時の大学生の使用語彙に入っているのであろうか。

●她的头发(有)多长？(p.63)

●妈妈买了新衣服。(p.67)

●妈妈买了衣服，又买了一双鞋。(p.67)

●妈妈没(有)买新衣服。(p.69)

●「お父さんは新聞を読まなかった。」「お父さんはまだ新聞を読んでいない。」「お父さんは新聞を読まない。」(p.69)

※母親がジェンダー役割として期待されている行動として、新しい洋服を買うことがあり、父親は同様に新聞を読むことが期待されている。

●<爸爸工作呢。><爸爸在工作。><爸爸正(在)工作。>(p.71)

●<不到长城非好汉>(p.74)。「『長城に至らずんば好漢にあらず』=諸氏を貫かないものはりっぱな人間ではない」という解説が加えられている。

●<我不想吃个晚饭。我要减肥。>(p.78)

※中国に来てから5キロ太ったという北野由香が痩せなくてはならないので食事をしないという場面。女子に対しては何かしらの理想の体型や固定観念があり、その理想に近づかなくてはならないというプレッシャーが存在する。女子は食事を多く食べてはいけないという呪縛、痩せていない女子は揶揄や嘲笑の対象になるという恐怖も、女子をダイエットに駆り立てて

ゆく。

●「お父さんは土曜日に会社に行って会議をしなければならない」(p.81)

●「私はダイエットしなければならない。妹はダイエットする必要はない」(p.81)中国語訳の練習問題。

●(男性に釣りに行こうと誘われて同意するが)但是我不会钓鱼，你教我吧。(p.82)※女性はアウトドアスポーツはできないことが多いので男性が教えてあげるぐらいがちょうどいい、という固定観念か。

●<小爱，这家店真好，衣服又漂亮，又便宜。>(p.86)女性が衣服を買う。

●「彼女の妹はかわいいし、聡明である。」(p.87)中国語訳の練習問題。

●妈妈把房间打扫干净了。(p.100)

■『初級中国語 オリンピックへようこそ 講読編』(徐送迎、2018年、朝日出版社)

●前田今年十九岁。他家有四口人。爸爸、妈妈、一个妹妹和他。他妹妹是高中生，非常漂亮。他爸爸是学校的老师，工作很忙。他妈妈不工作。王萌今年十八岁。她家有三口人。她是独生女。她爸爸是公司职员，妈妈是医生。中国的女性一般都工作。(p.20)

(筆者訳：前田は今年19歳で4人家族。家族構成は父親、母親、妹一人と彼。彼の妹は高校生で、非常に美しい。彼の父親は学校教員で、仕事が忙しい。彼の母親は仕事をしていない。王萌は今年18歳。3人家族。彼女はひとりっこだ。父親は会社員、母親は医者。中国の女性は普通皆働いている。)

※前田の妹について「大変美しい」と容姿を褒め、母親について「仕事をしていない」が、中国人登場人物の母親については「医者である。中国の女性は普通皆働いている」と述べる。これを読んで、中国語の学習を始めたばかりの学生は、日本人女性と中国人女性の人間としての生き方の違いをどのようにとらえ、感じるだろう。日本の女性は働かないというよりは、以前は現在より経済的に余裕があったため夫一人の給料でも一家が生活できたので妻は働きにでる必要はなかったと言うこともできる。近年は女性の意識改革や経済的条件の悪化により、家にいるより働きにでる女性が増えた。内閣府男女共同参画局のデータ²¹によると、平成27年度の15歳から64歳までの女性の就業率は全国で64.7パーセントにのぼる。日本人の意識の中ではこのことはすでに当たり前となっているが、中国人の中には、いまだに日本の女性は働かないと思われるようである。この課ではこの他にも「母は仕事をしていません」が3回ほど出てくる。

●中国の女性はふつう働きます。(p.24練習問題)

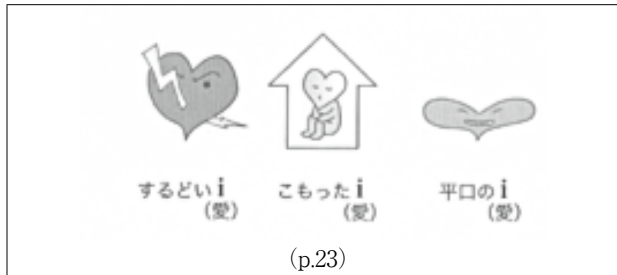
²¹ https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h29/zentai/html/honpen/b1_s00_01.html (アクセス日：2021年9月10日)

- 她姐姐很漂亮。(p.25練習問題)
 - 她大概在減肥吧。(p.44本文、p.47例文)
- ※上に挙げた教科書の例が極端であるかという
と、そういうことはなく、筆者が調査のために収集し
た多くのテキストで同様の情景が描かれている。

■『オリンピックへようこそ 会話編』（徐送迎、2018年、朝日出版社）

- 你爸爸是做什么？—我爸爸是老师。(p.20本文) ④ 家族の紹介。父親の職業のみが話題になっている。
- お父さんはどんなお仕事をしていますか。(p.24練習問題)
- 妈妈在做晚饭。(p.81例文)
- 妈妈没在做晚饭。(p.81例文)

■『ニーハオ！ニッポン ふりむけば中国語』（相原茂、朱怡穎、2018年、朝日出版社）



同じ編著者の教科書では、発音編でよく介音*i*について「3つの*i*（愛）」や<meng>の発音で「萌」という字を当てていたり、*e*の発音では「腰のツボを押されて痛気持ちいい！*e*」「ハッキリ*e*」「ほんやり、ゆるんだ*e*」というフィジカルな説明がなされる。下品な駄洒落を延々と強制的に聞かされているようだ。教室でこのような指導をおこない女子学生に「いい」と言わせ、説明文を読ませたり発音させたりすることは女性への嫌がらせになるのではないだろうか。

- お母さんは忙しくないです。(p.57練習)
- 私たちのガイドは非常に綺麗です。(p.57練習)
- ◎私のお母さんは大学で働いています。(p.83練習)
- 她不结婚。她没结婚。(p.83例文)
- 他每天不吃饭。他今天没做饭。(p.83例文)
- 你爸爸做什么工作？(p.79例文)
- 他有女朋友了。(p.88例文)
- 他又抽烟又喝酒。(p.115例文)
- 我被爸爸打了。(p.140例文)
- 妈妈吃得不多。(p.114例文)

■『シンプルチャイニーズ 北京 文法編』（早稲田大学理工学術院中国語部会 2018年、朝日出版社）

- 会話で家族(妹)のことが話題になる。外見のほか、

年齢や交友関係が話題になる。(p.53)

麥克：你有兄弟姐妹吗？
石井：我有妹妹。你看，这是我妹妹。
麥克：你妹妹真漂亮！她今年多大？
石井：二十岁。
麥克：她有男朋友吗？
石井：还没有。
麥克：是吗？我也没有女朋友。

- 我妈妈想去买东西。(p.67例文)
- 他有女朋友吗？(p.73練習問題)
- 我姐姐（做）饭做得很好。(p.100例文)
- ◎爸爸给我做晚饭了。(p.101例文)

■『中国語入門ルール66』（相原茂、玄宜青、2019年、朝日出版社）

- 第3人称 <単数 他（她）tā、複数 他（她）们 tāmen> (p.36)
- 発音の説明に男女関係を例に挙げて説明する例がある。

j + *iou* → *jiu* <消える*o*> *ī*(私)とī(あなた)の
h + *uci* → *hui* <消える*e*> 間には何か隠れて
いる！

ピンイン*i*を「私」、*u*を「you」で説明する図 (p.16)

じ	qí	xí	[<i>i</i>] するどい <i>i</i>	
zhī	chī	shì	ri	[<i>i</i>] こもった <i>i</i>
zì	cí	sí	[<i>i</i>] 平口の <i>i</i>	

するどい*i*(愛) こもった*i*(愛) 平口の*i*(愛)

ピンイン*i*を「愛」で説明する図 (p.17)

- ◎<他做饭呢。> (p.90例文)
- 她越来越能干。(p.146例文。このテキスト唯一の<她>の使用例。)
- 「僕も辞書を持ってこなかった」(p.142中訳練習問題) 男性コトバになっている。
- 「君、立ちなよ」(p.148中訳練習問題) p.147<你，站起来。>の日本語訳。少し古い時代の男性言葉になっている。

■『中国語で伝えよう！ コミュニケーション・チャイニーズ』（楊凱榮・張麗群、2019年、朝日出版社）



●<她今年三十岁>の挿画 (p.43)

- <我妈妈做的菜怎么样? > (p.63本文)
- 爸爸在公司工作。(p.65例文)
- 她在面包店打工。(p.65例文)
- 妈妈去超市买东西。(p.65例文)
- 妈妈包了点儿韭菜馅儿的饺子。(p.89例文)
- 爸爸看了一会儿报纸就去上班了。(p.107例文)
- 妈妈在做饭。(p.112例文)
- 妈妈在厨房做饭呢。(p.125例文)
- 彼女は私たちに中華料理を二品作ってくれた。(p.125練習問題)
- 彼女の妹はどこにも行ったことがない。(p.136練習問題)
- 彼はどんなお酒でも飲む。(p.136練習問題)
- 爸爸在床上躺着呢。(p.161例文)

■『あなたが主演 演じる入門中国語』(余潤、中桐典子、2019年、朝日出版社)

「このテキストは、学習者に俳優がセリフを覚えるように、中国語を覚えてほしいと思い、編みました。対話形式の本文は全て日常生活でよく使う実用的な内容です。」(「はじめに」より) 日本語で「あの水色のがいいわ」(p.44本文訳)、「太郎、早く起きて。もう8時半よ」(p.22本文訳)「じゃあ、私が肩を揉んであげるわ」p.48本文訳)のような戦前の山手言葉のような極端な女言葉がある一方で、「うざい」「まじっ? ヤバい!」のような明らかに教科書にはそぐわない、まともな若者は使わないような「若者ことば」や、「トイレをがまんできない小学生」「夫の肩を揉む新婚の妻」のように何となく性的な関係を連想させるような場面や言葉が書かれている。教科書中で紹介されている「歌」も、日本では差別的であるとして忌避される傾向のある歌が選ばれているなど、編著者が知らないだけなのか、表現の自由を謳歌しているのか理解に苦しむ箇所が多い。

- 大学生の息子が母親に朝起こされる場面 (p.22)

妈妈：太郎，快起来！ 「太郎，早く起きなさい。」
 我：咦？现在几点点了？ 「え？今何時？」
 妈妈：已经八点半了。 「もう8時半よ。」
 我：真的？糟了，糟了。「まじっ？ヤバい！」
 (p.22) 訳も教科書に掲載のものである

※中国語の教科書には、大学生にもなって朝は一人では起きられず母親や目覚まし時計のお世話になる「息子」がよく登場する。女性ではこのパターンはみられない。

- 「次はある新婚夫婦の家庭。「私」は優しい妻です。」

丈夫：最近工作很忙，好累啊！「最近，仕事が忙しくて、めっちゃめっちゃ疲れるよ。」

我：是吗？那，我给你揉揉肩。怎么样？「そう？じゃあ私が肩をもんであげるわ。」

丈夫：嗯，好舒服啊！「ん～、いい気持ち！」

(p.48 訳も教科書に掲載のものである)

※新婚にもかかわらず夫は激務、専業主婦の「優しい妻」に労られる、という場面か。

これを教室で学生に「演じ」させるのであろうか。不愉快を通り越して気持ちが悪くなる場面であるし、たとえ読むだけでも、学生から苦情がくることが予想される。

- 他好帅啊！「超カッコいい！」(p.49例文、訳も教科書より引用)

◎我爸爸也做家务。(p.53例文)

- 「授業が終わり、「私」は同級生と食堂で並んでいます。」(p.60)

同学：我吃炸猪排、咖喱饭和豆沙面包。「おれ、トンカツとカレーとアンパン食うわ。」

我：你饭量真大。「本当によく食べるわね。」

同学：我是男的嘛。「おれ、男だもん。」

我：我减肥，只吃色拉。「私ダイエットしてるからサラダだけにするわ」

(p.60 訳も教科書に掲載のまま)

中国語の教科書では、男性は食欲旺盛であるが、女性はダイエットといってほとんど食べないような場面が多い。「本当によく食べるわね」「おれ、男だもん」というやりとりにも驚かされる。この後、<我要三明治，豆沙面包喝可乐。>という例文が出てくるが、上記の「トンカツ、カレー、アンパン」というメニューと同様、成長期後期にある大学生の食事の栄養のバランスや肥満防止、女子の健全な食生活という観点は(栄養学や保健の教科書ではないので)当然全く考慮されていない。

■『初級中国語きっかけ24』(相原茂、蘇紅、2020年、朝日出版社)

- 她妹妹也很漂亮。(p.53例文)
- 小姑娘可爱吗？(p.55練習問題)
- 这小姑娘真可爱。(p.52例文)

- 她笑着跟我打招呼。(p.85例文)
- 她说说着说着眼圈儿红了。(p.109例文)

■『中国語でコミュニケーション』（氷野善寛他、2020年、朝日出版社）

- <你爸爸在哪儿工作？><我爸爸在银行工作。>(p.68)
- <我哥哥在银行工作。>(p.71)
- <他妹妹长得漂亮吗？><他妹妹长得很漂亮。>(p.101)
- 「張くんが前から歩いてきた」(p.149)

■『リスニング強化 演じる入門中国語』（李林静、余濶、中桐典子、2020年、朝日出版社）

先に挙げた『あなたが主役 演じる入門中国語』（余濶、中桐典子、2019年、朝日出版社）と中身は似ているが、中国語はだいぶん変えてある。「歌」も出てこない。日本語が少し怖いというか、キツイ感じがするのはそのままである。男性の一人称として「オレ」が使われていたり、禁止表現として「タバコを吸うな」「焦るな」「怒るな」と、口語ではほとんど使われない「ナ形」による禁止表現が見られたり（p.87）、夫が妻や娘を呼ぶのに「おまえ」とか「なにやってんだ」とたいへん乱暴な言葉遣いがされている。（p.86）娘のほうも、父親に「お前」呼ばわりされたら負けずに「うざいよ、お父さん」と言い返す。この親にしてこの子あり、である。

- 「夜中に帰宅した大学生の娘。父親の「私」は心配でたまりません。」(p.110)

我：你怎么回来的这么晚？「どうして帰りがこんなに遅くなったんだ？」
 女儿：我跟朋友出去玩儿了。「友達と遊びに行ったの」
 我：跟谁啊？你有男朋友了？「誰と？お前、彼氏ができたの？」
 女儿：烦死了，爸爸。我已经是大人了。「うざいよ、お父さん。私はもう大人だよ」

※まず、目上の人や親には「うざい」という言葉は絶対に使ってはならないし、「お前」を罵語とを感じる日本人もいるということを書いておきたい。娘が言っているように、大学生はもう大人なので、「お前」呼ばわりして「彼氏ができたの（彼氏ができたのか）？」と問い詰めるのは、明らかに過干渉である。「娘」ではなく「息子」であれば、父親もそこまで興奮しないであろう。

- 私の兄は野球ができません (p.140練習問題)
- 彼のお姉さんは全然太っていません。(p.132練習問題)

■『スリム版 中国語で伝えよう！』（楊凱榮・張麗群、2021年、朝日出版社）

- 她今年三十岁。(p.31例文) ㊦ 2019年版にあった鏡を見て悩む女性の挿画は削除されている。
- 彼女は洋服を何枚買いますか。(p.35練習問題)
- 我妈妈做的菜怎么样？(p.45本文)
- 他父亲工作非常辛苦。(p.46例文)
- 妈妈去超市买东西。(p.47例文)
- 彼女はピアノを弾くのが上手だ。(p.54練習問題)
- 妈妈包了（一）点儿韭菜馅儿的饺子。(p.59例文)
- 他能吃三碗米饭。(p.62例文) ㊦ 中国語では、「どのぐらいの量のごはんを食べることができるか（<能>を使う）」という例文がよく出てくる。主語は男性が多い。
- 妈妈在做饭。(p.66例文)
- 妈妈在厨房做饭呢。(p.71例文)
- 彼女は私たちに中華料理を2品作ってくれた。(p.71練習問題)
- 妈妈从厨房里走了出来。(p.72練習問題)
- 爸爸看了一会儿报纸就去上班了。(p.75例文)
- 公司让他去上海出差。(p.75例文)
- お母さんは私にアルバイトさせてくれない。(p.75練習問題) ※母親が子供の自立を妨げる過剰な干渉をしている。
- 彼はどんなお酒でも飲む。(p.79練習問題)
- 妈妈把冰箱里的东西都拿出来了。(p.82例文)
- 爸爸在床上躺着呢。(p.83例文)

■『漢語課本2021』（福岡大学中国語教科書研究チーム、2021年、金星堂）

福岡大学の共通教育過程の初年度中国語において全学で使用している統一教科書。2012年の試用本から、教科書を使う教員や学生の意見を参考に改定を重ねてきたが、ジェンダーバイアスの観点からはまだまだ見直すべき表現がある。

- 佐藤：你爸爸做什么工作？
田中：她是公务员。
佐藤：她忙不忙？
田中：他很忙。(2021年『漢語課本』p.38、2012年『試用本』p.38でも同じ本文を用いる)
- 他很高。(p.41例文)
- ◎田中の爸爸是公务员。她妈妈是医生。(2021年『漢語課本』p.42)
- ※2012年『試用本』では<她妈妈是家庭主妇>となっている。
- 妈妈做菜做得很好吃。(2021年『漢語課本』p.54、2012年『試用本』p.53)
- 她唱歌唱得很好。(2021年『漢語課本』p.71、2012年『試用本』p.70)
- 他不会做菜。(2021年『漢語課本』p.71、2012年『試用本』p.70)
- 女性はいつ食事をおごってもらえますか。(2012年『試用本』p.110リスニング問題) ←2021年版では削除。

- 男性は何を頼まれましたか。①パソコンの修理 ②自転車の修理 ③車の修理 (2021年『漢語課本』p.119、2012年『試用本』p.110)

2.4.2. 中級、二年以上用教科書

■『ドリル式中国語テキストII 王莉と理恵』(相原茂他、1987年、くろしお出版)

登場人物は日本人女性と中国人女性。男性は出てこないが、文法解説の例文はほとんど<他>が用いられる。

- 他们班里有几个女学生? (p.41) (かれらのクラスには何人女子学生がいますか)

「彼らの(他们)クラス」の中の「何人の女子学生(几个女学生)」という表現で、主に男子学生が多くいるクラスに女子学生が数名しかいない、という印象を受ける。

- p.55<小赵>だけでは男性か女性かわからないが、わざわざ「趙君」という訳を当てている。

●p.60-61.<中国人的姓氏>(中国人の姓氏)という課で、日本人理恵が王莉に中国人女性は結婚後も夫の姓に変えなくて良いと言う話を聞いて次のように感想を言う。

<但是, 按照我们日本人的看法, 一家人不姓一个姓, 就不亲热了。>(筆者訳: でも、わたしたち日本人からすると、一家が同じ姓でなかったら、家族の一体感がなくなってしまいます)

教科書の執筆年代が1987年なので、既に30年以上過去の意見ではあるが、日本人の全てが、結婚後の改姓に同意していて、女性は結婚後夫の姓に改姓しなければもはや一家の絆が保たれないと考えているような書き方である。改姓する側にとっての改姓の煩雑さ、改姓に伴う多くのデメリットについても議論されるべきであるし、同時に、中国人が伝統的儒教道徳観を踏襲したまま夫婦それぞれ別姓であり、子供は夫の姓を名乗ることが多いことに関しても、<恐怕也是一种民族习惯吧? 和日本妇女婚后改性一样。>(筆者訳: 多分民族的な習慣によるのでは。日本人女性が結婚後に姓を変えるのと一緒でしょ)と「民族習慣」ということで互いに軽く片付けている点は納得しがたい。

■『新聞で読む21世紀の中国』

●她不仅没变好, 反而变坏了。(p.23) ※主語に<她>が使われている例が多いが、マイナスイメージを伴う内容のものばかりである。主語が<他>である場合はプラスイメージの文章が多い。

- 他的汉语不仅说得好, 而且写的也好。(p.27)
- 她尽管有钱, 但是不幸福。(p.23)
- 他被誉为国宝。(p.38)

■『2年生のコミュニケーション中国語』(劉穎、2002年、

白水社)

会話の教科書。日本人女性が中国に短期留学する設定。空港、道を尋ねる、買い物、バスに乗る、友達を作る、外食する、約束する、電話のかけかた、郵便局、医者にかかる、中国人先生のお宅を訪問するなど実用的な場面の会話を通して中国語を学ぶ設定。会話の教科書によくある家族の紹介や、父母の職業について話すというパーソナルな話題もなく、例文にも性差別的表現や性的偏見を含む表現はみられなかった。

■『新版 中国語さらなる一步』(尹景春、竹島毅、2002年、白水社)

会話の教科書。日本人男性が中国に旅行に行き中国人の友人宅にホームステイする話。(友人を紹介されて、彼女の写真を見て)<她真像日本人!>(p.18本文)という場面はあったが(※褒めているつもりかよくわからない)、会話の教科書によくある家族の紹介や、父母の職業について話すという場面もなく、例文にも性差別的表現や性的偏見を含む表現はほぼみられなかった。

■『大学生中級中国語』(武継平、2002年、白帝社)

中級会話の教科書で、文法解説も丁寧で、本文や例文には性差別的表現や性的偏見を含む表現もあまり見られない教科書であるが、課間に<笑一笑>という短いジョークが配されていて、そのほとんど妻や女性の無知や容姿をあざけている。以下は一例。

妻子：我嫁给魔鬼也比嫁给你好。
丈夫：这不可能！因为近亲禁止结婚。(p.30)

“你妻子最近怎么样？”
“拼命减肥，每天骑马。”
“效果怎么样？”
“还可以。她减肥一个月，马瘦了三十公斤！”

- 妈妈正在做晚饭。(p.7例文)
- 妈妈叫妹妹每天买菜。(p.8例文)
- 再漂亮, 如果心不善良, 我也不喜欢。(p.41例文)
- 她很会处世, 没有人不喜欢她。(p.48例文)

※女性は容姿に加えて世渡り上手でなければやっつけいけないということか。

■『シャドウイングで学ぶ中国語文法』(長谷川正時、2005年、スリーエーネットワーク)

- 不必担心, 他有能力帮助你们。(p.30)
- 她很有能力, 但公司方面认为她没有资格参加研究小组。(p.30)
- 她没有资格参加研发小组。(p.30)

- 她低着头想问题。(p.28)
 - 我让她去了。(p.35)「私は彼女を行かせました。」(pp.35-36)
 - 我夫人不让我抽烟。(p.36)「家内にタバコを止められています。」(p.37)
 - 她是个耳聪目明的人，没人满的了她。「彼女は耳も目もしっかりしていて、誰もだませはしません」(pp.50-51)
 - 她看见了蛇非常害怕。(p.56)
 - 她说来说去，怎么也说不清。(p.62)
 - 她昏迷过去了。(p.84)「彼女は気を失いました」(p.85)
 - 她在高也高不过去一米八。(p.84)「彼女がどんなに背が高いといっても180センチはないでしょう」(p.85)
 - 结了婚一年，她最近胖起来了。(p.84)「結婚して1年、彼女は最近太ってきました」(p.85)
 - 她把那些碟子洗得很干净。(p.90)
 - 我们管聪明伶俐的小王叫小博士。(p.98)「私たちは利口ではきはきした王くんを小さな博士と呼んでいます」(p.99)
- ㉒<小王>は性別ではニュートラルであるが、日本語訳では「王くん」。
- 被夺走了衣服的仙女不能回天上，跟牛郎做了夫妻。(p.102)「着物を奪われた天女は天上に帰れず、牽牛と夫婦になりました」(p.103)
 - 妈妈借给我的名牌提包被人偷了，妈妈不问青红皂白就责骂了我一顿。(p.104)「母から借りたブランド品のバッグを盗まれたら、母は事情をきこうともしないで私を叱りました」(p.105)
 - 她把衣服给晾出去了。(p.106)「彼女は服を干しました」(p.107)
 - 她给你送秋波，是不是？(p.116)「彼女、君にモーションかけてるんじゃないですか」(p.117)
- ※女性にはつねにこうあってほしいという男性側の都合のいい勘違い。
- 她们以最好的笑脸来迎接客人。(p.122)
 - 在日本，自从通过银行发薪水后丈夫的微信有所下降。妻子们虽然事呆在家里，但却掌握管理了一切，我们就好像收到他们遥控指挥似的。(p.144)「日本では給料が銀行振込になってから、亭主の威光も地に落ちました。妻は家庭にいる人が多いのですが、一切を管理しています。我々はリモートコントロールされているようなものです」(p.145)
 - 据我所知，她还没有男朋友。(p.148)「私の知るところでは、彼女にはまだボーイフレンドはいません」(p.149)
 - 我把她休了，她眼泪汪汪的，我有点难受。(p.174)「彼女に三行半を突きつけると、彼女が目に涙をいっぱいためているので、私も少し切なかったです」(p.175)
 - 妹妹长得比姐姐还漂亮呢。(p.176)

- 姐姐还没有化妆呢。(p.198)
- 哥哥还没有做操呢。(p.198) ㉓この2つの例文は<还没有……呢>（まだ～していない）の例文。
- 他从言辞到态度都彬彬有礼！(p.204)
- 我已经吃饱了，可我老婆还要我再吃一个。(p.208)「私はもうお腹いっぱいなのに、家内はもうひとつ食べろといっています」(p.209)
- 看抱而闹电影的事我又没告诉她，她怎么会知道呢？(p.210)「私がポルノ映画を見たことは彼女には教えないのだから、彼女が知っているわけはありません」(p.211)
- 吉田小姐这几年来屡次被选为东京电气公司美女。(p.212)「吉田さんはこの数年何回もミス東京電気に選ばれています」(p.213)
- 她那个人就是爱打听别人的隐私，你可要小心。(p.216)「彼女は他人のプライバシーを詮索しますから、気をつけてください」(p.217)
- 她说来没来，我们白等了一个小时。(p.240)
- 她发起起了，现在你跟她说什么也是白说。(p.242)「彼女はむかつ腹をたてていますから、今あなたが何をいっても無駄でしょう」(p.243)
- 她与其说是被捕，不如说是自首。(p.252)
- 要是你不给他结婚，他就死了。(p.268)「もしあなたが彼と結婚してあげないと、彼は死んでしまうでしょう。」(p.269)
- 她会同意的，你只要把道理给她讲清楚。(p.272)
- 我是一个没有见过世面的女孩子，有什么好主意！(p.288)「私は世間知らずの娘ですから、いい考えなんてあるわけがありません！」(p.289)
- 世界上姑娘多着呢，何必单爱她。(p.294)「世の中に女の子はたくさんいるのに、どうして彼女でなければならないのですか」(p.295) ㉔
- 天涯何处无芳草，何必单恋一朵花。(p.294)「世に芳る花至るところにあり、追わずまじ一輪の花」
※蘇軾「蝶恋花」の「枝上柳綿吹又少，天涯何处无芳草」という一節をもじったもの。中国では失恋した友人を慰めるのに使われることがあるが、蘇軾は本来男女関係を比喩する意味でこの詩を書いたわけではなく、流浪の地にあつて故国に報いることのできない悲しさやるせなさを表したとされている。

■『音読したい中国語 中級』（崎原麗香、万里、2009年、朝日出版社）

- <除了吃饭和睡觉，他什么也不干。> (p.23)
 - <他既是文学家又是历史学家。> (p.24)
- ◎歴史上の豆知識として「纏足」を紹介。清代末期まで、女性は男性の所有物として纏足を強いられ自力で歩くこともできないような状態におかれたが、民国以後は封建時代の悪習として廃滅され、以後は、西洋から民

主義思想を取り入れた知識人によって男女平等、男女同権、女子教育が推進され全国に広まったというエピソードを紹介する。

◎「宋家の三姉妹」を紹介する。

※語学のテキストにおいて紹介される歴史上の人物は男性に偏りがちだが、このように女性を加えることで、ジェンダーのバランスをとることができる。(p.81)

■『変化する中国』(本間史、2009年、白水社)

本文は時事問題を扱う。例文はジェンダーにあまり配慮がされていないものがある。

●<他们因成功而高兴。><她因为失望而哭了。> (p.10 例文)

※「彼ら」は成功して喜び、「彼女」は失望して泣く。

●彼女は服をきれいに洗った。(p.15)

●在购买名牌上他肯花钱。(p.18)

●她不仅喝酒，还吸烟。(p.18)

●彼女はお金を使うことにかけては計画性がない。(p.19)

●她正化妆呢。(p.22)

●彼女は泣き出した。(p.23)

●兄は車の運転が上手だ。(p.31)

●<我之所以喜欢他，是因为她很诚实。><他们之所以分手，是因为她常常说谎> (p.54)

<之所以>のための例文。「彼<他>」は「誠実である」が、「彼女<她>」は「しょっちゅう嘘をつく」。

■『中国語 つぎへの一步』(尹景春、竹島毅、2010年、白水社)

「はじめに」によると、「やさしめ準中級」に設定されている。内容と構成は同じ編著者による『新版 中国語さらなる一步』(尹景春、竹島毅、2002年、白水社)とほぼ同じ。店員を呼ぶ際2002年『さらなる一步』では<小姐>を使っていたが、2010年『つぎへの一步』では中国側の事情を反映して<服务员>を使う、などの変更がされている。

●她真像电影演员! (p.18本文) ※友人を紹介される際に女性の写真を見て喜ぶ男性。2002年の教科書では<真像日本人! >となっていたのでそれを改めたか。

■『二冊目の中国語』劉穎、芝森、小澤正人、2012年、白水社。

●我很喜欢吃妈妈包的饺子。(p.7)

●我爸爸既是医生，又是大学教授。(p.7)

●我姐姐又喜欢吃，又喜欢玩儿。(p.7)

●<我爸爸在一家公司工作。他工作很忙，有时候连周末也不休息。我妈妈也工作。不过没有我爸爸那么忙。> (p.10) (筆者訳：私の父は会社員だ。彼は仕事が忙しく、週末にも休まないことがある。私の母も仕事をしている。しかし父ほどには忙しくない。) ※母親は仕事をしている。三人の子供を持って、週末も仕

事ばかりして休まない父親と山登りばかりしている祖父もいるのに、「父親ほどいそがしくない」というのは一体どういう意味だろうか。

●除了星期天(以外)，他每天都上班。(p.15)

●那天，她穿着一条白色的连衣裙，很漂亮。(p.18本文)

●我想去看3D电影，可是他想去逛街，我只好陪他去逛街了。(p.18本文) ※自分が見たいことやりたいことがあっても彼女がショッピングをしたいといえは諦めてつきあってあげている、という上から物を言うような雰囲気がある。

●我跟着他逛了一家商店有一家商店，已经非常累了。可是她一点儿也不累。她看了首饰，又看帽子，试了衣服又试鞋。(p.18本文) ※男友達がつきあって疲れているのもかまわずに自分の見たいものを見て行きたいところに行く。女性は買い物が好きという表現を強調しているのであろうか。

●「父はいつも新聞を読みながら朝食を食べる」(p.26 練習問題)

●「彼女はお金さえあれば、旅行に行く」(p.31練習問題)

●<我有三个闹钟。一个是哆拉A梦的闹钟。那是我刚上小学的时候我姥姥送给我的。每天早上我都被哆啦A梦叫醒。上大学以后，我每天特别忙。下课后，不是去踢足球，就是去打工。回家后还要复习功课，经常一两点才睡。我怕第二天起不来，又买了一个声音更大的闹钟。可是后来我慢慢地习惯了，还是起不来。现在我用的闹钟就是手机。早上一到点，它就会叫起来：“起床啦！快起床！”那是我女朋友的录音。自从有了这个闹钟，我就再也没迟到过。> (p.42本文) (筆者訳：私は目覚まし時計を3台持っている。一つはドラえ目の目覚まし時計で、小学校に上がったばかりのころおばあちゃんがくれたもの。毎朝私はドラえもんを起こされる。大学入学以後、私は毎日とても忙しくなった。授業が終わった後は、サッカーに行くのでなければバイトに行く。帰宅後はさらに復習しなければならないので、午前1時2時になってやっと眠る。2日目に起きられないかもしれないので、もっと大きい音の目覚まし時計を買った。しかしのちにだんだんと慣れてしまって、やはり起きられなかった。今私が使っている目覚まし時計は携帯電話である。朝時間になると、それはすぐに鳴り出す。「起きなさい。早く起きて！」それは私の彼女の声の録音だ。この目覚まし時計になってから、私は二度と遅刻しなくなった。)[2442]) ※三個の目覚まし時計のうち、なんと一つはドラえもん、一つは「彼女」の声であったという話。男子学生と女子学生の間性的な関係を連想させ、おそらく教室の大半の女子学生を不快にさせるかもしれない。この教科書(『二冊目の中国語』)における女性の形象は大変低く描かれ、女性の服装や外見を褒める例文が多く、本文では、すでにみたように、本当は映画を見た

い男性を女性が引き回して街をぶらぶらしてウィンドウショッピングを楽しみ男性の1ヶ月の小遣いに相当する高級バッグを買う話や、母親と姉がネットショッピングを楽しむ話、練習問題として、甘い物が好きで太りすぎてダイエットに失敗する女性の話などが登場する。

■『2年目の中国語ポイント45』本間史、孟広学、2014年、白水社。

会話テキスト。男女（中国人2人、日本人2人）のバランスもとれていて、時事問題をテーマにしている点は『変化する中国』（本間史、2009年、白水社）と同じであるが、複雑な時事問題を単なる説明口調で終わらせずに、若者の抱える問題として当事者気分で味わえる。例文もより洗練されていて、以前よりジェンダーバイアスに配慮されているように感じる。

- 她不但学习好，而且性格也特别好。(p.31例文)
- 他不但是医生，而且是作家。(p.31練習)
- 彼女は性格がいいだけでなく、頭もいい。(p.32例文)

■『日中いぶこみ12景』相原茂、蘇明、2014年、朝日出版

この教科書が作られたねらいは「はしがき」によると次のようである。

日本と中国は永遠の隣人として向き合わなければならない。それには言語を通して日中異文化理解が欠かせない。本書は、今後ますます重要になる異文化コミュニケーション（いぶこみ）の問題を正面からとらえ、興味深いテーマ12をとりあげ、これを課文としたものである。「本書の最大の特徴は……、さらに「いぶこみポイント」を儲け、これについても「設問」を配した点にある。異文化コミュニケーションを学ぶべきポイントとして正面から取り上げ、練習まで行うのはおそらく本邦初と思われる

異文化コミュニケーションは異なる言語を話す民族の問題のようでもあるが、価値観が多様化した現代にあつては、国や民族の考え方というよりも、個人の生き方や考え方にも深くかかわる問題でもある。特に、この教科書で扱われている「見合いと結婚」「配偶者の条件」「住宅問題」「嫁と姑」「高齢者問題」は個々人の生活や日常の状況に応じて異なる問題であり、その価値基準も不変であるということはない。民主主義の社会では家族の問題は社会制度の問題ではなくプライバシーにかかわる問題でもあるからきわめて繊細であり、かつ家族構成や年齢の変化に応じて変わりやすい判断や価値観を、日本人はこのように考えるが、中国人はこのように考える、とざっくり分類されることに対する違和感をぬぐいきれない。

●「彼女は彼のことがすきなようです」(p.20練習問題)
●<望子成龍>(p.23コラム)※<子>は男子のみ。<望女成鳳>という4字が続くことがあるがそれは紹介されない。

●她的房间打扫得多干净啊。(p.23例文)

●她的男朋友多帅啊。(p.23例文)

●她毕竟刚工作，不懂的事情还很多。(p.53例文)

●他毕竟比你经验多，你要听他的。(p.53例文)

※同じ<毕竟>(なんといっても、結局のところ)という副詞を使って二つの例文を展開している。

●“男大当婚，女大当嫁”(p.43本文)※「男は年がゆけば結婚し、女は年が行けば嫁ぐもの」という中国の伝統的な考え方を紹介する。

●“剩女”(結婚しない女性):いわゆる「結婚適齢期」(中国では20代後半ぐらいを指す)を過ぎてても結婚しない都市部の高学歴高収入の女性。

剩女(結婚しない女性) 中国では結婚適齢期を過ぎてても結婚していない“剩女”が増えています。27歳以上の“剩女”は4000万人近くに達していると言われてます。“剩女”の多くは高学歴で高収入の傾向があります。その優越感から優秀な男性を探そうとするのでついつい婚期が遅れてしまいます。彼女たちは週末は友人と集まって音楽、絵画などの勉強をして教養を高めています。周囲や親からは催促されるのですがそれでも考えを曲げずに自分に合った男性が現れるのを待っているのです。(p.47コラム)

※女性だけの状況が描かれている。中国では適齢期を過ぎてても結婚しない男性のことを<光杆儿><剩男>という。産児制限の結果深刻な「男剩り」現象が続いている中国では、結婚したくても結婚できない問題は女性よりも男性のほうにもっと深刻に存在するがそのことには一切触れられていない。あたかも高学歴高収入の女性が生活の水準を維持して自由を謳歌するために結婚しないかのようにもとらえられる。

●<婆媳关系>「嫁と姑の問題は、時代を問わず、国を問わず、微妙かつ悩ましい問題でありつづける」(p.58)

※結局は人間関係である問題を、あたかも女性固有の問題であるかのように提供している。添えられている女性二人の写真も大きく(横14.5センチ×縦11.5センチ)、ほほえましいというよりは一種の圧迫感を感じる。男性は家族の問題には関与しなくて良いというメッセージか。



この課には<侍奉公婆> (夫の両親に仕える)、<七出> (古代の中国で離婚を強制できた七つの規約)、<現代婆媳关系>、<婆媳影识>という「女大学」のようなコラムがあり、嫁姑問題の原因があたかも「今日、多くの女性が社会進出し、男性とほぼ同等の経済的地位を確立したことや、男女間、親子間の思想の平等化、結婚観念の自由化」にともなって発生した「嫁が旦那に優しくない (下線は筆者による)」「姑の家事への干渉」「世代間の生活スタイルの違い」(p.63コラムより)等であるかのようにも読める。

このあと、<怎么能才能建立良好的婆媳关系? >という記述問題がある。コラムにもとづいた解答例を考えてみた。

問：夫の母親とうまくやっていくにはどうしたらよいか。

答：女性が社会進出をやめて、経済的に男性に依存し、男女間、親子間の思想を不平等のままにしておくこと、結婚観念も19世紀以前のままにしておくこと、夫に優しくする、姑に家事への干渉をおおいにさせ、世代間の生活スタイルも姑の世代に合わせることで、姑は満足して、結果、妻と姑は良好な関係を維持できる (かもしれない)。

●<侍奉公婆>:夫の両親に仕えること。以下引用。(下線は筆者による。)

古代から中華人民共和国が成立するまで中国はとて“男尊女卑” nán zūn nǚ bēiの強い社会でした。孟子の“娶妻为养” qǔ qī wéi yǎngという言葉にあるように、結婚をして嫁をもらう一番の目的は両親の世話をさせる事でした。良い妻の基準は“妇事舅姑如事父母” fù shì jiù gū rú shì fùmù (旦那の両親を自分の両親のように世話する) でした。朝は鶏が泣いたらすぐに起き、身だしなみを整え、夫の両親に挨拶をし、身支度の手伝いや朝食の準備をし

す。夫の両親の許しが無い限り自分の部屋に戻って休むわけにはいかないのです。舅姑の言いつけには絶対服従です。周 (前11世紀～前771) の時代、嫁が家を追い出される一番の理由は舅姑の言うことに従わないことでした。(p.62)

●<七出>: 儒教において、夫が妻を一方向的に離別できる七つの理由。以下引用。(下線は筆者による)

七出: 古代中国では“離婚”は男性の特権で女性が“離婚”を申し出ることは許されませんでした。“七出”は周の時代にできた嫁に“離婚”を強制できる七つの規約です。以下のことが含まれます。“不顺父母” bú shùn fùmǔ: 夫の両親に孝行しない; “无子” wú zǐ: 子供が産めない; “淫” yín: 浮気する; “妒” dù: 嫉妬心が強い; “有恶疾” yǒu è jí: 悪い病気を患っている; “多言” duō yán: かげ口をする; “盗窃” dào qiè: 家財を盗む。“七出”は二千年もの間実施され続け、多くの女性が迫害を受けました。(p.62)

江戸時代の「女大学」のような周代 (前11世紀～前243?) の慣習を繰り返し述べている。ここで描かれる女性は常に他者に経済的にも精神的にも依存して命をつなぐ存在として描かれる。夫や夫の両親に気に入られなければいつでも離婚を言い渡され、実家に帰ることもできずに、実家に戻らせられたとしてもすぐに他の男性と結婚させられるなどの不遇な運命に甘んじるしかない可憐な存在である。

教科書では、駄目押しのようにさらにもう一つのエピソード「陸游と唐婉」を付け加える。陸游と唐婉が離縁した原因として、陸游が唐婉を溺愛するあまりなかなか科挙に受からなかったこと、唐婉と姑の関係があまりよくなかったこと、二人の間に子供ができなかったこと、などを挙げて「唐婉は細かいことには無頓着で陸游の母はそれを嫌い」「陸游は親孝行な子だったので母に従うしかありませんでした」(p.65) と、唐婉に全ての非があるように書く。

このコラムのテーマは、「このように古代中国では嫁のみならず子も親の言うことには服従しなければならなかったのです。」ということであるが、現代の私たちに何を学べと言っているのか趣旨が不明瞭。昔はこうだったけど、今は違うからよかったねと言いたいのか、昔はこうだったのになんで今はそうではないのかと我々女性に非難と教訓を与えようとしているのだろうか。ここに、現代の生きる私たち女性の目指すべきモデルはひとつも含まれてない。

本来中国には「尚古主義」(古い時代の思想や制度を尊び、これを模範とする考え方) という古来の伝統を崇める文化があるため、このような考え方は現代においても完全に否定されているわけではないのは日本も同じである。「両親に孝行しない」「浮気する」「嫉妬

心が強い」「悪い病気を持っている」「かげ口をする」「家財を盗む」などはまさに根拠のない「いいがかり」であり、「子供が産めない」と書くことで更にたくさんの女性や夫婦の気持ちを傷つけている。読む側の女性の心を暗くして心理的な圧迫を与える内容である。

- 妈妈从早到晚做家务，很辛苦。(p.60例文)
- 她既聪明又漂亮。(p.69例文)
- 「彼女は北京でさえも行ったことがない」「彼女は自転車さえも乗れません」(p.93練習問題)
- ※「北京でさえも」からどこを類推すればよいのか。「彼女」に対する差別的な目線に大都市コンプレックスが加わっている。「自転車さえも乗れません」も同様に、自転車に乗らなくても普通に生活している人はたくさんいるし、練習する機会がなければ乗れなくて当然である。主語が<她>である必然性は皆無。
- 他连一口酒都不能喝。(p.93例文)

この教科書では巻末に中国のことわざを40紹介している。女性をモノ扱いしたり揶揄するようなものも含まれている。

- <打是亲，骂是爱>「打つのもしかるのもすべてかわいいがため」(p.108 中国のことわざ40)
- <皇帝女儿不愁嫁>「よい商品はすぐに買い手がつく」(p.108 中国のことわざ40)
- <女大十八变>「女は成長するまでなんども容姿が変わる例え」(p.108 中国のことわざ40) (下線は筆者)
- <巧媳妇难为无米之患>「無い袖はふれない」(p.108 中国のことわざ40)
- <情人眼里出西施>「あばたもえくぼ」(p.108 中国のことわざ40)
- <人是衣裳马是鞍>「馬子にも衣装」(p.108 中国のことわざ40)
- <三个女人一台戏>「女三人寄ればかしましい」(p.108 中国のことわざ40)

■『チャレンジ！二年生の中国語』（南勇、2015年、朝日出版社）

- <那个穿着裙子的是谁？——是我的学姐。>(筆者訳：あのスカートを履いた人は誰ですか。私の女性の先輩です) 中国語には、日本語のような性別にかかわらず使える「センパイ」「コウハイ」という語がないため、男性の場合は<学长>女性であれば<学姐>と使い分ける。女性だからとスカートを履く設定にしているのはジェンダーバイアスの一例であろう。
- <他拦住我，不让我走。> (p.15) (筆者訳：彼は私を遮って、私を行かせなかった)
- <妈妈担心地看着我。> (p.33) ※子供の心配をするのは母親の仕事、と決めつけているような一文。
- 「彼はどんなに悔しくても言わない。」(p.34) <他不

管多委屈也不说。>を作る練習問題の一文。日本では、男性は不平不満を口にすべきではない、とされていることの表れか。

- 「君がいくより、僕が行ったほうがいい。」「僕は何がなんでもいかなければならない。」「仕事を探すために、彼は毎日でかける。」(p.46)
- 日文中訳の練習問題文。主語は全て「僕」「彼」という男性。この「僕」「彼」は責任感があり、大変意思が強くて粘り強いということがわかる。このテキストは、例文を用いる際には<他>の使われることがほとんどである。

- <他是一个很认真的人> (p.33)
- <他不想去北京。><他不愿意去北京。><他不肯去北京。><他肯帮我们了。><他不肯见我。> (p.21)
- <他从来没有迟到过。><他一定会考上大学的。><他从来不让爸爸妈妈担心。> (p.8)

のように、能力と責任感のある人物形象を描く場合にはほとんど<他>が用いられている。

- 他忙得连星期天也休息不了。(p.50)
- <在中国，女友就像女王，任性是她的特权。她可以随便指使男友干这干那，稍不满意，就发脾气。甚至又“打”又“骂”。这是，不管女友多么不讲理，中国的男生一般会默默忍受，否则她就会跟你没完的。你一定以为，中国的女生厉害，不可爱吧？其实，这些都是她们表达爱情的方式，不是说“打是亲，骂是爱”吗？> (p.54) (筆者訳：中国では、女友達（彼女）とはすなわち女王さまであり、わがままは彼女の特権である。彼女は彼氏に気まぐれにあれやこれやと指図することができるし、少しでもお気に召さないとすぐに機嫌を悪くする。「打つ」や「どなる」こともある。彼女がどんなに横暴でも、男子は普通黙って耐えてる。そうしなければ彼女はキミに白黒つけようとするだろう。君は中国人女性は恐ろしくて愛せないと思うだろう。でもこれは全部彼女らの愛のカタチだ。「かわいくなかったら叩かないし、愛してなかったら怒鳴らない」と言うではありませんか。)

※中国人カップルにおいて女性が強気で立場が強い場合、男性にハンドバッグを持たせる、教室で席取りをさせる、学食でも席取りをさせ、配膳までさせた挙句に運んできた食事が気に入らないとすべてをぶちまけるなど、男性に身の回りのことすべてをさせ、女性は気に入らないことがあると所かまわず大声で怒鳴ったり暴力的な行動に出るのを見ることはめずらしいことではないが、すべての中国人女性がそのようなわけではない。これは明らかにいじめあるいは一種のDV（ドメスティック・バイオレンス）の描写であるのだが、これを「愛」の一言で片付けている。逆のパターンを考えてみれば明白であろう。手を上げるのは女性側だけではなく、伝統的に男社会である中国では

男性からのDVによって女性側が死に至るケースのほうが報道される数としては多いという印象を筆者は受けている。暴力の理由を、安易に「かわいいから、愛しているから」と説明してしまうのは、DVを肯定的に捉えているとも受け取られかねない。授業中にも説明がされるべき問題であると思う。

●<她买的包又好看又便宜。> (p.56) 女性、買い物、バッグ、の組み合わせである。

●<她的男友又高又帅。> (p.56) 背が高くてかっこいいということ自体は差別とは言えないが、このような文を日々目にする中で男性とはそうあるべき、という固定観念につながる。一般に中国では女性は<苗条>、男性は<剛強>を求められるので、これも典型的な性的偏見と言える。

●「彼のガールフレンドはかわいいし、才能もある」(p.57) <他的女友又可爱又能干。>を書かせるための問題。女性は主に容姿と頭の良さが褒められる対象となる。

■『知っておきたい中国事情 改訂版』吉田泰謙、相原里美、葛婧、2017年、白水社

「今回の改定にあたっては、これまで本書を使用していたいただいた方々からのコメントや目まぐるしく変わる中国の社会事情などを踏まえ、本文の内容、ポイント、例文などを一部見直しました」(「はじめに」より)とあるが、残念ながら改定前の版は入手できなかった。

●爸爸工作很忙。(p.6例文)

●妈妈去超市买东西。(p.7例文)

◎她一边工作一边学习，很辛苦。(p.11例文)

◎他边听音乐边做饭。(p.11例文)

●她们不停地说话。(p.11例文)

●爸爸拼命地工作。「父は一生懸命に仕事をしている。」(p.12練習問題)

●我妈一边打电话一边做家务。「母は電話をしながら家事をしている」(p.12練習問題)

◎「父は仕事が終わると、すぐに帰宅して食事を作る。」(p.12練習問題)

●一般来说，女人爱聊天儿，男人则不太喜欢。「一般的に女性はおしゃべりが好きだが、男性はあまり好きではない」(p.16、練習問題)

●为了公司的发展，他付出了一切。「会社の発展のために、彼は全てを捧げた。」(p.20練習問題)

◎像做饭，洗衣服什么的，他都愿意干。(p.27例文)

●她的歌声多么好听啊！(p.31例文)

◎他又聪明又能干。(p.36例文)

◎他不但性格好，还很聪明。(p.48例文) 性格がいい、賢いと言われるのは通常「她」なので、そういう固定観念にとらわれていない。

●「彼はかっこよくてお金持ちだ。」(p.37練習問題)

■『中国語のおもてなし』本間ゆかり、蘇紅、2017年、郁文堂

◎観光に関する話題がほとんどなので、ジェンダー的に極端に偏った内容は少ない。

●<戒烟的女性，据说有八成都想戒烟。> (p.88)

女性だけではなく、男性も禁煙したい人が多いのではないだろうか。

◎<据说日本妇女结婚后要随丈夫的姓，是真的吗？> (p.88) <是真的。中国不一样吗？> (p.89)

※事実であるが、望むと望まないとにかかわらず、姓を変えなければ結婚しないという選択しかない。選択的夫婦別姓が導入されないということは女性にとってはたいへん不自由なことであると、改めて意識させる効果はあるだろう。

●<他结了两次婚。他们结婚三年了。>テキストの例文として使われる三人称主語<tā,tāmen>は<他、他们>を用いる。<她>が使われるのは、p.93の<她的身体有可能康复吗？> 1例のみ。

■『ことばと文化 一挙兩得 中級中国語』(陳淑梅、陸薇、2017年、朝日出版社)

◎据说日本的年轻人因为工作忙，没有时间考虑结婚。而在中国，年轻人因为没有钱买房子、买车，所以不能结婚，原因是总过有一个习惯，就是男方要在结婚前准备新居。这对年轻人来说，是很难的事情。(p.84本文)

※結婚しない男女が増えているのは、個人の(特に女性の)わがままというよりも社会的な事情が大きいことをきちんと指摘している。特に、中国では男性の数が多し、男性のほうが結婚に際し、新居と車などを準備する習慣があるので、財力のない男性は結婚できないし、女性もそのような男性と結婚しようとは考えないらしい。

●他不但会开车，而且还会修车。(p.20例文)

●田中老师不但漂亮，而且很温和。(p.20例文)

●这次的公益活动以男生为主。(p.32例文)

●彼女は聡明で、そしてきれいです。(p.33練習問題)

●あなたの妹はますますきれいになりました (p.33練習問題)

●彼女はとてもきれいで、その上とてもやさしいです (p.35練習問題)

●他工作特别忙，连吃饭的时间都没有。(p.38例文)

●彼はとても忙しく寝る時間さえありません。(p.38例文)

●她把房间打扫干净了。(p.38例文)

●她一边唱歌儿，一边跳舞。(p.45例文)

●爸爸总是一边看报，一边吃饭。(p.45例文)

●彼女たちはお茶をのみながらお喋りをします。(p.45例文)

●他是运动员，也是教练员。(p.56例文)

- 我父亲是大学老师，也是律师。(p.56例文)
- 他是伟大的文学家，也是伟大的政治家。(p.56例文)
- 彼は大学生であり、選手でもあります。(p.56練習問題)
- 彼は私たちの先生であり、私たちの友達でもあります。(p.56例文)
- 彼は必ず成功するにちがいません。(p.57練習問題)
- 她的病一定会好的。(p.57練習問題)
- 彼女の携帯が弟に壊されました。(p.57練習問題)
- 她长得漂亮，好像演员似的。(p.68例文)

■『漢語課本II改訂版』（趙葵欣、董玉婷、2018年、朝日出版社）
女性は料理、男性はサッカーか野球が得意であり、父親はずっと仕事ばかりしていて母親は子供をきびしく管理する例文が多い。

- 彼女は料理を作るのが早くておいしい。(p.12練習)
- 妈妈总是一边听音乐一边做菜。(p.32例文)
- 姐姐做菜做得越来越好了。(p.37例文)
- 那个女孩儿穿着特别的衣服，真好看。(p.41本文)
- 那是“巫女”的衣服。巫女是在神社工作的女孩儿。(p.41本文)
- 我也穿着这样的衣服在神社打过工。(p.41本文)
※女子だけしか着ることができない、という点を強調している。神職装束には職位や場面に応じて様々な種類がある。
- 爸爸总是穿着西服。(p.43例文)
- 他是个很特别的人。(p.44例文)
- 佐藤喜欢运动，特别喜欢踢足球。(p.44例文) ※「佐藤」はこの教科書に登場する男子学生。
- 巫女はいつも特別な服を着て仕事をする。(原文ママ) (p.46練習)
- 妈妈一走，孩子就哭起来了。(p.50例文)
- あの女の子の服は見たところ特別だ(原文ママ)。(p.51練習)
- お母さんは私にテレビをみさせない。(p.51練習)
- お母さんは私によく部屋を片付けさせる。(p.52練習)
- 妈妈做的菜比我做的菜好吃多了。(p.55例文)
- 我没有哥哥那么忙。(p.55例文)
- 弟は今お父さんと同じくらい(背が)高くなった。(p.58練習) ※男性の背が高いか低いかはそれ自体は差別的ではない。しかし女性の容姿と同じく自らの努力では変えることが難しいので、男性=背が高くあるべき、というのは性差別の一つと言える。
- 私の趣味は彼のとは異なり、私は読書が好きだが、彼は野球をするのが好きだ。(p.58練習)
- 他打棒球打得不错。(p.63練習)
- 野球以外に、彼はサッカーをすることもできる。(p.63練習)
- 他不但是歌手，而且还是作家。(p.67例文)

- 彼女の中国料理は作ればつくるほど本格的になった。(原文ママ) (p.70練習)
- 她高兴地笑了。(p.79例文)
- 她笑着说：“太好了”。(p.43例文)
- お父さんは仕事が忙しい、時には週末さえも休まない。(p.88練習)

■『2年目の伝える中国語 自分のこと日本のこと』（及川淳子、2019年、白水社）

ジェンダーに配慮されている。主人公の一人の出身地が首都圏ではなく九州（長崎）であること、習い事も、通常は女子はピアノ、男子は野球やサッカーであるが、書道、茶道、剣道、柔道など伝統的な日本の芸事にも言及している。手話、優先席、駅のトイレ、地方都市の紹介をするなど多様性や持続可能性に配慮した内容になっている。観光もテーマのひとつであるが、華美な写真や女性のモデルをつかわずに日本の魅力や最近の若者文化について十分に伝えている。

◎我家有四口人，爸爸，妈妈，哥哥，和我。我爸爸是公司职员，妈妈是公务员。(p.6本文)

■『日中いぶこみ劇場』相原茂、費燕、蘇明、2020年、朝日出版社

- 「お母さんは子供に宿題を終わらせてから遊ぶように言った。」(p.16練習問題)
- ※日々の子供の教育に当たるのは母親である。
- 「彼女の体は大丈夫ですか？」(p.24練習問題)
- 她还小，不懂事。(p.25例文)
- 彼女はまだ車の運転ができない。(p.25練習問題) ※「…ができない」というときに<她>が主語になりやすい。
- 那个小女孩儿又聪明又漂亮。(p.33例文) ※女性は容姿と賢さで評価される。
- 大妈1: (您儿子) 在什么单位工作呀?
大妈2: 国企、党员、双休、月薪两万多，身高一米八。
大妈1: 我姐姐有个女儿，29了。刚从美国留学回来。又聪明又漂亮，性格也好。(p.30本文)
- ※男性は仕事と収入と身長、女性は容姿と賢さと性格で評価される。
- 她男友的学历、身高、长相都无可挑剔。(p.36例文)
- 客 人：您也这么能干，妻子就不用工作了吧。
按摩师：是，没让她干什么。(p.54本文)
- ※p.57の解説によると、<就>は、全文の条件または状況下で、自然にどういう結果になるかを表す。「(教科書訳) あなたもなかなかのやり手だし、奥さんは働かなくても良いでしょう。」夫が金銭的に余裕のある状態であれば、妻は働かなくても良い、という自然な結果が生じる、ということらしい。日本では、既婚女性が働くことに対して「夫が働いているから、あなたは働かなくてもいいでしょう」「夫が働いているのに、

あなたはなぜ働くのですか」と否定的にとらえられることが多い。

- 妈妈从早晨起床到现在没休息一分钟。(p.67例文)
- 「彼女は実年齢より上にみえます」(p.90練習問題)
※発話の意図が不明。幼い子が、大人びているのか、成年が老けて見えるのか。外見のことなら、ことさら口には出して言いつらいのでは。

■『赤シート付 読み書き話す+聴く 中国語の基本ステップアップ編』(新谷秀明、王宇南、2021年、朝日出版社)

- 她40岁才结婚。(p.23例文)
- 他23岁就结婚了。(p.24練習問題)
- 她一毕业就结婚了。(p.43例文)
※中国語の動詞は主語の性、数による活用変化をしないので、三人称代名詞が主語である場合は、〈他〉〈她〉のどちらを用いても文の理解上問題なさそうであるが、卒業してすぐに結婚するのは〈她〉であり、40歳になって「やっと」結婚したのも〈她〉であり、〈他〉は23歳で「もう」結婚したということである。
- 她是几岁开始学弹钢琴的？(p.25練習問題)
- 我的生活以学习为中心，二爸爸则以工作为中心。(p.27例文)
- 虽然今天星期天，但是爸爸还在工作。(p.48練習問題)
- 丽丽越来越不喜欢运动了。(p.35例文)
- 丽丽不但会包饺子，而且会做小笼包。(p.48練習問題)
- 姐姐想买几件新衣服。(p.35例文)
- 彼女はすでに30分も泣いています。(p.41練習問題)
- 彼女は背が高くてきれいです。まるで映画スターのようです。(p.52練習問題)
- 彼女の体調はますます悪くなってきました。何も食べませんし、どこにも行きません。(p.36練習問題)
- 兄は毎朝語時半に起きます。彼は起きたらすぐに勉強します。私も彼と一緒に勉強したいのですが、五時半におきられません。(p.44練習問題)
- 英語にせよ中国語にせよ、佐藤さんは上手にしゃべります。彼はたしかに優秀です。(p.60練習問題)
- 彼は賢いだけではなく、一生懸命頑張ります。聞くところによりますと、彼は大学受験の時に、英語はなんと満点を取りました。(p.56練習問題)
- 私たちのクラスは佐藤さん以外、みな中国人です。佐藤さんは中国語だけではなく、日本語と英語も話せます。もし機会があれば、佐藤さんはフランス語も勉強したいです。(p.20練習問題)
※ここだけでは「佐藤」は女性か男性かわからないが、本文に登場する「佐藤和也」のことを指しているらしい。また、この後の練習問題にも「佐藤は……彼は……」と出てくるので、男性であろうと思われる。
- 哥哥很擅长运动，尤其是打网球。(p.35例文)

- 弟弟不但会少林拳，而且会太极拳。(p.47例文)
※編著者は意図したわけではないだろうが、練習問題に登場する女子は病気がちで引きこもりがち、精神的にも何か追い詰められて泣いたり外に出ても買い物ばかりしている。男子(佐藤?)は運動が好きで活発で勉強も好きで成績もよく、弟はそんな兄に憧れている様子がかがえる。

■『仲間で話そう中国語』(徐送迎、2019年、朝日出版社)

- 我哥哥会打棒球。(p.9例文)
- 我哥哥跑得非常快。(p.22例文)
- 他足球踢得好不好？他踢得很棒。他踢得不太好。(p.22例文)
- 医生不让爸爸喝酒。(p.23例文)
- 妈妈一边做饭，一边听音乐。(p.22例文)
- 我爸爸一边看报纸一边吃早饭。(p.22例文)
- 爸爸先洗澡，然后吃晚饭。(p.33例文)
- 我爸爸去上班了。(p.41例文)
- 威廉：这个办法不错。女士优先，玛丽和媛媛先点菜吧。(p.38本文)
※(状況説明)鈴木は留学生3人を連れて東京見学をした後、食事をすることになり、誰が払うかで揉めたあと、割り勘(AA制)でということになった。注文する際はレディファーストで、ということになる。
- 鈴木：玛丽，作为美国女性，你谈谈。
玛丽：还没想好。我想当翻译，又觉得汉语教师也不错。
威廉：玛丽的汉语水平特高，做哪个工作都胜任。
王媛：威廉，你别光听着，你也说说嘛。
威廉：我虽然学的是汉语，但是我的梦想是当老板。
王媛：你的目标是媛大啊。威廉，加油！(p.44本文)
- ※男性、女性を強調する。女性の理想の職業は通訳か語学の教師かホテルのマネージャー、男性は社長。
- 她今天穿着一件旗袍。(p.47例文)
- 我爸爸每天走着去上班。(p.47例文)
- 女性として、あなたの夢を語ってください。(p.49練習)
- 作为女性(男性)，请谈谈你的梦想。(p.49練習)
- 听说他女朋友非常漂亮。(p.51例文)
- 妈妈让孩子们写作业。(p.53例文)
- ◎大家选她当人民代表。(p.53例文)
- 他爸爸一到星期天，就去打高尔夫球。(p.65例文)
- 我爸爸下班以后经常跟同事去喝酒。(p.75例文)
- 王媛：你们有女朋友、男朋友吗？喜欢什么样的异性？(p.56本文)
- 威廉：我有女朋友，我喜欢活泼可爱的女孩儿。(p.56本文)
- 鈴木：我还没有。不过，我喜欢文静的女性。(p.56本文)
- 王媛：玛丽，你怎么不发言，有男朋友吗？(p.56本文)
- 威廉：她男朋友非常优秀，比我们的汉语好多了。(p.56

本文)

●父はたとえ忙しくても、毎日必ず1時間新聞を読みます。(p.60) ※1時間も新聞を読むから忙しくなるのでは。

●あなたはどのような女性が好きですか。(p.61練習) ※異性の好みについて何度も同じような練習問題で聞かれる。

●你有女朋友(男朋友)吗?(p.61練習)

●爸爸一到星期天,就去打高尔夫球。(p.65例文)

●鈴木:一年没见了,玛丽和媛媛越来越漂亮了。(p.68本文) ※この後、「本文に基づいて質問に答えましょう」で<玛丽和媛媛有什么变化吗?>という質問がある。

●威廉:遗憾的事我还是一个穷学生,没有钱。(p.68本文)

●他被选为学校的棒球队员。(p.71例文)

●彼らは学校の選手に選ばれ、スポーツの大会に参加したことがあります。(p.72練習)

●彼女はますます綺麗になりました。(p.73練習)

●父は仕事を終えた後、よく同僚と居酒屋へ飲みに行きます。(p.78練習)

■『漢語課本ⅡB(試用第3版)』(福岡大学中国語教科書研究チーム、2020年)

●我和刘静说好了今天一起去天神逛街。(p.18)

●彼女は今日赤いスカートを履いています(p.27)

●田中对数学不感兴趣。(p.26)

●彼女はスーパーへ少し買い物をしに行きたい。(p.33)

3. ジェンダーバイアス以外のバイアス、表現

3.1. エイジズム(年齢差別)

エイジズム(年齢差別)は、ジェンダー以外で最も分かりやすい構造を持つ差別である。年齢感覚が敏感で若さに価値を求める人が自分よりも先に生まれた人を蔑む、あるいは低く見ることである。中国では年齢感覚よりも世代感覚のほうに敏感なので、年が若かったり、若く見られることに価値を置かない、という人もいるが、本当であろうか。中国語のテキストでは、必ず年齢と家族構成を聞く場面が入る。「年齢の言い方」と「年齢の聞き方」(10歳未満か、10歳以上の若者か自分より年下の人か、比較的年をとっていると思われる人かで三種類の聞き方を覚えなければならない)で一つの文法項目が形成される。年齢に対する感覚は日本よりも中国のほうがシビアであるようにも思える。そして、教科書にもよく若く見えることへのこだわりや実年齢よりも若く見えることを美化する文が見られる。これはすなわち「老い」への嫌悪に他ならない。

■『中国語の最初歩』

●李大伯虽然年过六十,劳动劲头却比得上年轻的小伙

子。(p.124) 本文訳:「李おじさんは60歳を超しているのに、労働する力は年の若い仲間に匹敵する。」※鲁迅「故郷」の一文。1921年に発表された小説である。

■『シャドウイングで学ぶ中国語文法』(長谷川正時、2005年、スリーエーネットワーク)

●你的头发白了不少。(あなたの髪は相当白くなりましたね) p.16

●他不服老,打球扭了腰。(彼は年甲斐もなく球技をやり、ぎっくり腰になりました) p.30

●这个问题很简单,连我妹妹也能回答。(p.166)

●七十多岁的老人还这样认真学习,何况我们中年人呢?(p.244)

■『発音重視型 はじめての中国語』(朱春躍、中川正之、2008年、白帝社)

●<周:哦,你爸爸、妈妈真年轻!><鈴木:是吗?他们都五十多岁了。><周:真的吗?真不像。>(p.34)

■『日中いぶこみ12景』(相原茂、蘇明、2014年、朝日出版社)

●这么简单的事,连小孩儿都懂。(p.93例文)

●<养老问题>「中国の伝統的な観念は“养儿防老” yǎng'èr fánglǎo(子供を育て老後にそなえる)です。すなわち、子供たちが親の晩年の面倒を見ることです。中国の法律に子供は親の介護をする義務があると記されています。」(p.86コラム)

●「現代中国の《婚姻法》にも“孩子有抚养父母的义务”「子供は親を扶助する義務がある」と規定されています。物質的、経済的に親を助ける以外に生活面や精神的な面においても配慮をし、世話をしなければならないということです」(p.87コラム)

●「孝行をしたいときには親は無し」、これは親が健在なうちに孝行をするようにとの諫めです。古代から今日まで“孝顺父母”(親孝行)は美德の一つで、中国の倫理教育のなかではもっとも重要なものとみなされています。“百善孝当先”「世の善行のなかで孝行が第一」と重んじられ、孝行する人は人々に信用され、尊敬されています。逆に親不孝な人は軽蔑されます。しかし今の“80后”には自分中心の考え方をする人が多く、親を思う気持ちが薄れてきました。中には豊かな生活を送るために平気で親の脛を齧る“啃老族”も現れ、社会問題になりつつあります。」(p.87コラム)

■『チャレンジ!二年生の中国語』(南勇、2015年、朝日出版社)

●<妈妈尽管四十多岁了,但是显得很年轻。>(p.15)

■『日中いぶこみ劇場』、相原茂、費燕、蘇明、2020年、朝日出版社。

- 「70歳の祖父でもオンラインゲームをするなんて」
(p.52練習問題)
- 奶奶已经80岁了，可是看上去显得很年轻。(p.90例文)

■ 『福岡旅情故事 (試用第3版)』 (福岡大学中国語教科書研究チーム、2020年)

- 你看不出来已经五十岁了。(p.56例文)

親孝行や子供が親の介護をすることが差別的であると指摘したいのではなく、上に引用した文の前提として、高齢者や年老いた親はかわいそうな存在であり、「配慮をし、世話をしなければならぬ」という上から目線の差別的な問題点を指摘しているだけにすぎない。実際に、若者には親を省みる余裕がないのかもしれないし、政府は高齢者問題を負擔したくないだけかもしれない。「どのように高齢者のめんどうをみるか」という議論に終始することなく、または、従来の成績第一主義や拝金主義一辺倒で倫理観に問題があるような若者が多くて困ると嘆く前に、高齢者と若者がそれぞれ自立して尊重しあえるような社会モデルを模索することは日本においても中国においても可能はずである。

3.2. 多様性、社会的弱者、環境や言論そのものへの配慮

一方で、女性だけではなく、学生や相対的な社会的弱者へ配慮していない例文も多い。罵り言葉や、暴力的な言葉、反語を用いた責め言葉なども見る人を不快な気持ちにさせる。共通教育としての中国語は世界のマーケティング市場で戦う企業戦士やエリートを育成するためのものではない。学生の人格を育み、国境を越えた多様性を理解して、自己の出自や文化も尊重し自己肯定感を上げ、社会参加を意識するための訓練の場の一つなのである。

多様性や環境に配慮した例文を選択することで学ぶことの意義をより強く感じる授業が行えるのではないだろうか。(もちろん、編著者には表現の自由があるので、筆者の個人的に感じたところを指摘はするが、削除や改定を求めているわけではないことをお断りしておく。)

■ 『中国語の最初歩』

テキストの発行年は1989年。ぎょっとするような表現が出てくる。

- 畜生 (本文訳: けだもの) (p.6)
- 没有抢拿什么抵抗敌人呢? (p.70)
- 那是让中国走向资本主义的想法。(p.71)
- 我多会儿打过你? 去年你打过我。(p.84)
- 那怎么不会呢? 话怎么说就怎么写。是吧! (p.110)
本文訳: 「そんなことがどうしてできないの。話をするときのように書く、そうでしょう」同意を求める「吧」

を導入するための例文であるが、同意に至る前の「那怎么不会呢? 话怎么说就怎么写。」がたいへん強烈である。

- 全城都叫炸弹炸坏了。(p.139)
- 好，我就让你打，让你把我打死! (p.141)
- 他父亲是被敌人害死的。(p.141)

■ 『実力中国語』岩佐昌暉他、1999年、中国書店

- <神戸发生了地震。><这次水灾死了不少人。>(p.76)
現象文を説明するための例文。1999年当時は今ほど自然災害が頻繁には発生していなかったかもしれないが、例文とはいえ、被害を経験した人にとっては不快な例文である。

■ 『シャドウイングで学ぶ中国語文法』長谷川正時、2005年、スリーイーネットワーク

- 你怎么还回答不出这么简单的问题来啊。「君はどうしてこんな簡単な問題にも答えられないのですか」p.48
- 你还是外语大学毕业的，连这么简单的文章也翻译不出来。(p.244)「君は外語大出だというのに、こんな簡単な文章も訳せないというのですか。」※上から目線の非難、できないことをしつこく追求する態度はほぼパワーハラスメント(嫌がらせ)に相当する。特に「どうして」「こんな簡単な問題も」というのであれば、自分でするのがいい。書いている人も常にこのような叱責を授業中に行なっているのかもしれない。
- 文化与教育问题同该国的国民素质密切相关。(p.248)「文化と教育の問題はその国の国民の素質と密接に関係しています」(p.249)
- 人固有一死，或重于泰山，或轻于鸿毛。(p.250)「人はいずれ死ぬものですが、泰山より重い死もあり、鴻毛より軽い死もあります」(p.251)※毛沢東『为人民服务』中の文。<轻于鸿毛>な死というものは何を指すのであろうか。選択を表す<或>の例文。
- 过去穷人家的孩子怎能上学? (p.288)「昔は貧乏人の子供は学校になど上がれませんでした」(p.289)

■ 『漢語課本II 改訂版』(趙葵欣、董玉婷、2018年、朝日出版社)

- 我说过三遍了，难道他又忘了吗? (p.79例文)
- 你不是学过十年英语吗? 怎么说不会英语呢? (p.79例文)
- 怎么多工作，今年即使不睡觉，也做不完。(p.80例文)
- 无论你喜欢还是不喜欢，这是你的工作，应该尽量做好。(p.81練習)
- ※日本語に訳すともものすごくキツイ感じのする言い方になってしまう。「十年も英語やったのになんで英語できないの」のパターンは、他の中国語教科書にも登場する。

■『赤シート付 読み書き話す+聴く 中国語の基本ステップアップ編』（新谷秀明、王宇南、2021年、朝日出版社）

●私はすでに六年間も英語を学んでいますが、まだ上手にしゃべれません。今日は先生に叱られました。

※日本であれば、何年勉強していようが学生がうまくできなかつたら教師は自分の指導法を検討するが、中国ではできないと言って学生のほうをしかるのである。

■『チャレンジ！二年生の中国語』（南勇、2015年、朝日出版社）

●他们这些农民工，在城里属于社会的最底层，活得很辛苦，能挣多少钱？（p.30）（筆者訳：彼ら出稼ぎ労働者は、都会では社会の最底辺に属し、生活は苦しくいため、いくらも稼ぐことができない）

※中国の社会が流動性に乏しく閉鎖的であるため、出稼ぎ労働者に対しどのような見方をするかということを示した一文。「社会の最底辺だ」と言い切っている。その主たる理由は、お金を稼ぐことができない、という拝金主義が原因である。人間には多様な価値があるので、一般の中国人はこのように考えている、このように考える人も多い、ということはもちろん教師から補足説明されることで、授業展開は一層豊富多彩になると思われる。

●<他不是韩国人。><他并没有结婚。>（p.44）

<并不><并没有>を習得するための例文である。「韓国人」「結婚していること」をことさらにあげることには何か意味があるのだろうか。

●「いい仕事を見つけるために勉強をがんばらなければならぬ」（p.46）

<为了找到好工作，一定要努力学习。>を書かせるための問題文。

■『ことばと文化 一挙両得 中級中国語』（陳淑梅、陸薇、2017年、朝日出版社）

●这样简单的道理，连小学生都明白。（p.38）

4. 結語

以上、大変限られた資料と用例であったが、福岡大学の共通教育と九州地区の大学で用いられている中国語の教科書を中心に、中国語教科書における性差別的表現の問題について考察を行なった。

大学の共通教育で外国語を履修する意味が取りざたされる昨今、教養文化的な側面や実用的な側面は言うまでもなく、外国語を学ぶ過程で、否応なしに教科書を皆の前で朗読したり、クラスメートと絶え間なく自己開示を含む擬似会話練習を行い、外国語の授業を通じた異文化体験をすることによって、これまで自分が育ってきた環境を見直し、自分と言う人間がどういう人間なのかを新

たに問い直すきっかけにもなる。しかし現行の多くの中国語教科書に、男性中心主義、性別役割規範、男女二元論、異性愛主義、年齢差別等の差別や偏見が残ることは、すでに見た通りである。

教科書では異性愛への志向の表明や、刺激的でアイキャッチ効果のある女性の挿画を用いなければ授業のできる教科書にならないと考えている編著者にも問題がある。講読用の教科書ではよく「剩女」や「生育計画」など女性の性やお金に関する材料が取り上げられるが、これも題材として学生の興味をひきやすいからではないか。これらは「楽しい」教材としては成功しているのかもしれないが、学生が成長を実感したり「学んでよかった」と考える教材になりうるだろうか。一方で、『心に残る中国語』（金星堂、2005）や『中国語のかけはし』（駿河台出版社、2010）など、文学や日記を材料として、例文まできちんとジェンダーに配慮している教材もある。わたくしたちは、教科書を実際に使って多くの学生に授業をしたり、執筆する側の人間として、ジェンダーやあらゆる多様性に気づき配慮する責任がある。特に中国語は初級の段階で、家族構成や名前年齢などのプライバシーに踏み込んだ応答をタスクとして用いることが多いが、無神経に自己開示を要求することは、受講生を傷つけて授業から遠ざけてしまうこともありうる。筆者は神経質な人だとか等批判されることを恐れずに、一教員として声をあげた。中国語を愛する研究者のひとりとして、もっと受講者に中国語を好きになってもらうために、多様性を尊重し、学びへの意欲に配慮した教科書と授業づくりを今後も考案していきたい。

参考文献（アルファベット順）

- 足立祐子・鄭賢熙（2006）「語学教科書とジェンダー・バイアスの表現について」『新潟大学国際センター紀要』2：27-42。
- Dumond, Val著、稲積包昭、野谷啓二訳（2000）『性差別をしないための米語表現ハンドブック』東京：松柏社。
- 藤井幸之助（2008）「朝鮮語初級教科書に見られるジェンダー・バイアス—言語教育になぜジェンダーの視点が必要か?」『女性学評論』22：41-67。
- 石川有香編著（2020）『ジェンダーと英語教育—学際的アプローチ—』大学教育出版。
- 伊藤明美（2006）「テキストに隠されたジェンダー・バイアス 中学校の英語テキストを中心に」『藤女子大学紀要 第1部』43：101-111。
- 町田茂（2004）「中国語教育と教材開発の課題」『教育実践学研究』9：47-52。
- 大西博子（2008）「これからの第二外国語教育の方向性—

中国語統一テキスト開発の取り組み」『語学教育部
ジャーナル』4：13-24。

任利 (2015) 「現代中国語辞書に潜む性差別：第三人称
代名詞"他"と"她"の例文分析から」『言語と文化 =
Language and Culture』27：135-153。

Roussel, François (2019) Enseigner langue et culture:
quelle image de la France dans les manuels de
FLE au Japon ? — 2. Représentation des femmes
et des hommes : les manuels au filtre du genre.

Définition d'une méthode. (日本のフランス語教科書で
みるフランスの社会と文化) — 『語学教育研究論叢』
(大東文化大学) 36：23-37。

崎田智子 (1996) 「英語教科書の内容分析による日本
人の性差別意識の測定」『The Japanese Journal of
Experimental Social Psychology』36-1：103-113。

佐々木瑞枝 (2014) 「日本語教科書に盛り込むジェンダー
意識 教科書作成の経験から」『日本語とジェン
ダー』14：15-21。

謝辞：本研究は、福岡大学研究推進部の研究経費による
ものです。(中国言語文化研究 課題番号213001)